

依テ得タル質主權ト同シキモノトス

本條ハ物品ヲ盜取セラレ又ハ紛失シタルトキニハ之ヲ適用セサルモノトス

第三百七條 前條ノ規定ハ無記名證券ニアリテハ其賣却又ハ質入ヲ商人其商ヒ營業外ニ於テナシタルトキ及其證券ヲ盜取セラレ又ハ紛失シタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第三百八條 所持人ノ爲メ尙ホ一層利トナル規定ヲ據ル各邦法律ハ前二條ノ爲メニ變更ヲ受ルコトナシ

第三百九條 現物質ヲ置ク爲メ民法ニ規定シタル法式ハ商人間ニ於テ雙方ノ商ヒ取引ヨリ生スル要求ニ付キ動物件、無記名證券又ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得

ル證券ヲ現物質ニ置クトキ之ヲ要セサルモノトス  
此場合ニ於テハ質入ニ付キ單一ナル契約ノ外左ノ手續ヲナスヲ以テ足レリトス

第一 動物件及無記名證券ニアリテハ債主ニ其現有ヲ移轉スルコト其移轉ハ民法ノ規定ニ從ヒ現物質ニ付キ要スルモノト同一ナリトス

第二 裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得ル證券ニアリテハ裏書シタル證券ヲ債主ニ交付スルコト

第三百十條 商人間ニ於テ雙方ノ商ヒ取引ヨリ生スル要求ニ付キ書面ヲ以テ現物質ヲ置キタル場合ニ於テ債主ハ負債者延滞スルトキ之ニ對シ訴訟ヲナスコトヲ要セス直ニ其質物ヲ以テ辨償ヲ受ルコトヲ得



債主ハ其管轄商事裁判所ニ必要ナル證書類ヲ呈示シ  
テ其許可ヲ請フヘキモノトス商事裁判所ハ負債主ヲ  
尋問スルコトナク及債主ノ危険ヲ以テ質入物件ノ全  
部又ハ一部ノ賣却ヲ命スルモノトス  
債主ハ其許可並ニ賣却執行ヲ成ルヘク速ニ負債主ニ  
通知スヘキモノトス債主其通知ヲナサ、ルトキハ損  
害賠償ノ義務アルモノトス賣却ヲナス爲メニハ通知  
ノ證明ヲ要セス

第三百十一條 商人間ニ於テ雙方ノ商ヒ取引ヨリ生ス  
ル要求ニ付キ現物質ヲ置キ書面ヲ以テ債主裁判手續  
ヲ用井スシテ質物ヨリ辨償ヲ受ルヲ得ルコトヲ契約  
シタル場合ニ於テ負債者延滞スルトキ債主ハ其質物

ヲ公賣ニ付セシムルコトヲ許スモノトス此場合ニ於  
テ其質入物件相場會所又ハ市場ノ時價ヲ有スルトキ  
ハ商業仲立人仲立人ナキトキハ公賣ニ付スルノ權ア  
ル官吏ニ依頼シ公賣ニ付セス其時價ヲ以テ亦賣却ス  
ルコトヲ許スモノトス債主ハ賣却執行ヲ成ルヘク速  
ニ負債者ニ通知スヘキモノトス債主此通知ヲナサ、  
ルトキハ損害賠償ノ義務アルモノトス

第三百十二條 質物ヲ置カシメ又ハ賣讓スルコトニ付  
キ法律規則及申合規則ヲ以テ公然ノ質取所貸附所及  
銀行ニ與ヘタル特別ノ權利ハ前條ノ規定ニ依テ變更  
セララル、コトナキモノトス  
商人間ニ於テ商ヒ取引ヨリ生スル要求ニ付キ現物質



ヲ置キ又ハ賣讓スルコトニ付テハ之カ爲メ各邦ニ現  
行スル規定ヲ遵守スルトキハ前條ノ規定アルモ法律  
上有効ニ之ヲナスコトヲ得ルノ妨ケトナラサルモノ  
トス

第三百十三條 商人他ノ商人ニ對シ其間ニ於テ取結ヒ  
タル雙方ノ商ヒ取引ニ依リ有スル支拂滿期ノ要求ニ  
付テハ負債者ノ承諾ヲ得テ商ヒ取引ニ依リ現有セル  
負債者ノ總テノ動物件及有價證券ヲ留置スルノ權ヲ  
有スルモノトス但商人其動物件及有價證券ヲ手中ニ  
存セス又ハ其他特ニ運送狀積荷證書又ハ藏敷證書ヲ  
以テ之ヲ處分スルコト能ハザルトキハ此限ニアラス  
但物件ノ留置一定ノ方法ヲ以テ物件ヲ處分スル爲メ

負債者ヨリ其交付前又ハ其際與ヘタル差圖又ハ債主  
ノ負擔シタル義務ニ抵觸スヘキトキハ前項ノ留置權  
ハ生セザルモノトス

第三百十四條 前條ニ掲ケタル留置權ハ左ノ場合ニア  
リテハ支拂滿期ニ至ラサル要求ニ付テモ亦前條ノ要  
件ヲ以テ存立スルモノトス

第一 負債者ノ財産ニ付キ倒産ヲ開始シタルトキ  
又ハ負債者單ニ支拂ヲ停止シタルトキ

第二 負債者ノ財産ニ付キ權制執行ヲナシタルモ  
其効ナキトキ又ハ負債者ニ對シ支拂義務ヲ履行  
セザルカ爲メニ身体押置ヲ執行シタルトキ

此場合ニ於テハ一定ノ方法ヲ以テ物件ヲ處分スル爲



メニスル負債者ノ差圖又ハ義務ノ負擔モ亦留置權ノ妨ケトナラサルモノトス但第一及第二ニ掲ケタル狀況物件ノ交付後又ハ義務ノ負擔後始メテ生シ又ハ債主ノ知了シタルトキニ限ル

第三百十五條 第三百十三條又ハ第三百十四條ノ規定ニ從ヒ留置權ノ屬スル債主ハ其權ノ執行ヲ遲延ナク負債者ニ通知スルノ義務アルモノトス負債者遲延ナク他ノ方法ヲ以テ保證セサルトキ債主ハ其負債者ニ對シ自己ノ管轄裁判所ニ訴訟ヲ提起シ物件ノ賣却ヲ求ルノ申立ヲナスノ權アルモノトス又其債主ハ賣得金ヲ以テ負債者ノ他ノ債主ニ先キ立テ辨償ヲ受ルコトヲ得又倒産額ニ對シテモ亦此權利ヲ有ス

第三百十六條 第三百十三條ヨリ第三百十五條マテニ於テ債主ニ與ハタル權利ハ雙方ニ於テ特ニ契約シタルトキハ生セサルモノトス

第三節 商ヒ取引ノ取結

第三百十七條 商ヒ取引ニアリテハ契約ノ効力ハ書面又ハ其他ノ法式ニ依テ定マルモノニアラス此規定ノ例外ハ此法ニ之ヲ掲ケタル場合ニ限り効力アルモノトス

第三百十八條 現在ノ雙方間ニ於テ商ヒ取引ヲ取結フ爲メニナス申込ニ付テハ直ニ陳述ヲナスヘキモノトス之ニ違フトキハ申込人ハ其申込ヲ長ク守ルノ義務ヲキモノトス



第三百十九條 不在ノ雙方間ニ於テナシタル申込ニア  
 リテハ申込人ハ遅延ナク正當ニ返答ヲ發送シタル場  
 合ニ於テ其到着ヲ期スルコトヲ得ル時限マテ其申込  
 ナ守ルノ義務アルモノトス其時限ヲ計算スルニ方リ  
 申込人ハ其申込ノ遅延ナク到達シタルヘシトノ豫定  
 ナ以テスルコトヲ得  
 遅延ナク發送シタル承諾前項ノ時限後始テ到着シタ  
 ル場合ニ於テ契約ハ申込人其到着前又ハ其到着後遅  
 延ナク退約ノ通知ヲナシタルトキハ存立セサルモノ  
 トス  
 第三百二十條 申込ノ取消其申込前又ハ申込ト同時ニ  
 他ノ一方ニ到着スルトキハ其申込ハ之ヲナサ、ルモ

ノト看做スヘキモノトス  
 又承諾ノ取消其承諾ノ陳述前又ハ其陳述ト同時ニ申  
 込人ニ到着シタルトキ其承諾ハ之ヲナサ、ルモノト  
 看做スヘキモノトス  
 第三百二十一條 不在ノ雙方間ニ於テ協議シタル契約  
 成就シタルトキハ承諾ノ陳述ヲ發送シタル時限ヲ契  
 約取結ヒノ時限ト看做スモノトス  
 第三百二十二條 設若又ハ制限ヲ以テスル承諾ハ申込  
 ナ拒絕シテ更ニ申込ヲナシタルモノト看做ス  
 第三百二十三條 委任ヲ受ル商人ト授任者トノ間ニ取  
 引ノ關係アルトキ又ハ其受任者授任者ニ對シ其委任  
 ナ執行センコトヲ自ラ申込ミタルトキ其受任者ハ遅



延ナク返答ヲナスノ義務アルモノトス之ニ違フトキハ其黙過ヲ委任ノ承諾ト看做ス  
 受任者ノ其委任ヲ拒絶スルトキト雖委任ト共ニ商品又ハ其他ノ物件ヲ送達シタルトキハ授任者ノ費用ヲ以テ一時其損害ヲ豫防スルノ義務アルモノトス但受任者其費用ノ引當ヲ有シ及自己ノ損害ナクシテナスコトヲ得ルトキニ限ル  
 商事裁判所ハ受任者ノ申立ニ依リ所有者他ノ方法ヲ以テ處分ヲナスマテ其貨物ヲ公然ノ倉庫又ハ他人ニ藏寄スルコトヲ命スルヲ得

第四節 商ヒ取引ノ履行

第三百二十四條 商ヒ取引ノ履行ハ契約ニ定メタル地

所又ハ取引ノ性質又ハ契約者雙方ノ意ニ從ヒ履行地ト看做スヘキ地ニ於テ之ヲナスヘキモノトス  
 此要件ナキトキハ義務者ハ契約取結ヒノ際商店ヲ有セシ地其商店ヲキトキハ住所ヲ有セシ地ニテ履行スヘキモノトス但契約取結ヒノ際他ノ地ニ存在セシコトヲ契約者雙方知了シタル一定ノ物件ヲ交付スヘキトキ其交付ハ其地ニテ之ヲナスモノトス  
 第三百二十五條 裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得ル證券又ハ無記名證券ノ支拂ヲ除クノ外金錢支拂ヒニアリテハ負債者ハ其危険及費用ヲ以テ要求ノ生シタルトキ債主商店ヲ有セシ地其商店ヲキトキハ其住所ヲ有セシ地ニテ之ニ支拂ヒヲ渡スヘキモノトス但契約ニ依



リ又ハ取引ノ性質又ハ契約者雙方ノ意ニ從ヒ之ニ異ナルコトノ判然スルトキハ此限ニアラス。但裁判管轄又ハ其他ノ事項ニ關スル負債者ノ法律上履行地(第三百二十四條)ハ本條ノ規定ニ依テ變更セラレ、コトナキモノトス。

第三百二十六條 契約ニ義務履行ノ時限ヲ定メサルトキ其履行ハ何時タリトモ之ヲ要求シ及ナスコトヲ得ルモノトス但狀況又ハ商ヒ習慣ニ依リ之ニ異ナルコトヲ認ムヘキトキハ此限ニアラス。

第三百二十七條 義務履行ノ時限春季又ハ秋季又ハ之ニ類スル季節ナルトキハ履行地ノ商ヒ習慣ニ依テ定マルモノトス。

義務履行ヲ月ノ央ト定メタルトキハ其月ノ十五日ヲ以テ履行ノ日ト看做スモノトス。

第三百二十八條 義務ノ履行ヲ契約取結ヒノ後一定期限ノ經過ヲ以テナスヘキトキハ其履行ノ時限ハ左ノ時ナリトス。

第一 日ヲ以テ期限ヲ定メタルトキハ其期限ノ最終日ナリトス其期限ヲ計算スルニ方リテハ契約ヲ取結ヒタル日ハ之ヲ算入セス期限ヲ八日又ハ十四日ト定メタルトキハ滿八日又ハ滿十四日ヲ謂フ。

第二 週月又ハ數月ヲ包含スル時間(年、半年又ハ一季)ヲ以テ期限ヲ定メタルトキハ名稱又ハ數ニ於



テ契約取結ノ日ニ應スル末週又ハ末月ノ日ナリ  
トス此日末月中ニ存セサルトキ其履行ハ此月ノ  
最終日ニ之ヲナス

半月ナル語ハ十五日ノ時間ト同視スルモノトス履  
行ノ期限ヲ滿一月又ハ滿數月及半月ト定メタルト  
キハ十五日ヲ最後ニ加フヘシ

期限ノ始リテ契約取結ヒノ日ニ依ラスシテ他ノ時限  
又ハ事故ニ依テ定メタルトキト雖亦其期限ハ前項ノ  
原則ニ從ヒ之ヲ計算スヘキモノトス

第三百二十九條 履行ノ時限日曜日又ハ一般ノ祭日ニ  
當ルトキハ其次ノ常日ヲ以テ履行ノ日ト看做スモノ  
トス

第三百三十條 一定ノ時間内ニ履行ヲナスヘキトキ其  
履行ハ其時間ノ經過前ニ之ヲナスヘキモノトス

其時間ノ最終日、日曜日又ハ一般ノ祭日ニ當ルトキハ  
遅クトモ其前ノ常日ニ履行スヘキモノトス

第三百三十一條 此期限計算第三百二十八條ヨリ第三  
百三十條マテノ變更ハ相場會所取引ノ決算期日ニ關  
スル場合ニ限り相場會所ノ規則ニ任カスモノトス

第三百三十二條 義務履行ハ其履行期日ニ於テ通常ノ  
取引時間ニ之ヲナシ及受クヘキモノトス

第三百三十三條 義務履行ノ契約上期限ヲ延長シタル  
トキハ其期限ハ疑シキ場合ニ於テハ舊期限ノ經過後  
初日ニ始マルモノトス



第三百三十四條 支拂日ヲ定メタル總テノ場合ニ於テハ其支拂日ヲ單ニ契約者雙方ノ一方ヲ利スル爲メ加ヘタルヤ否ヤハ取引ノ性質及契約者雙方ノ意ニ從ヒ之ヲ判定スヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テ負債者支拂日前ニ支拂ヲナスノ權アルモ債主ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ割引ヲナスノ權ナキモノトス但契約又ハ商ヒ習慣ニ依リ債主ニ其權アルトキハ此限ニアラス

第三百三十五條 契約ニ於テ商品ノ性質及品位ニ付キ詳細ノ定メナキトキハ義務者ハ商品ヲ中等ノ種類及品位ニテ引渡スヘキモノトス

第三百三十六條 契約ヲ履行スヘキ地ニ行ハル、度量

衡貨幣本位及ヒ貨幣種類期限計算及距離ハ其疑シキ場合ニ於テハ之ヲ契約ニ定メタルモノト看做スヘキモノトス

契約ニ定メタル貨幣種類支拂地ニ於テ通用セス又單ニ計算上本位ナルトキハ其額ハ支拂日ノ價額ニ從ヒ其邦ノ通用貨幣ヲ以テ支拂フコトヲ得ルモノトス但「其物」ト謂ヘル語又ハ類似ノ附記ヲ用テ契約ニ定メタル貨幣種類ヲ以テ支拂フコトヲ明約シタルトキハ此限ニアラス

第二章 賣買

第三百三十七條 衆人ニ知レ易キ方法特ニ代價表、倉庫品目錄、見本又ハ雛形ヲ交付シテナス賣却ノ申込又ハ



商品代價又ハ數量ヲ確定セサル賣却ノ申込ハ買受ノ義務ヲ生セシムルノ申込ニアラサルモノトス

第三百三十八條 一定ノ代價ヲ受ケテ換用物ノ數量ヲ供給スル商ヒ取引モ亦賣買ニ付テノ規定ニ從テ判定スヘキモノトス

第三百三十九條 檢視賣買又ハ試験賣買ハ買主商品ヲ檢視シ又ハ試験シテ承諾スルコトヲ其意ニ任カスル設若ヲ以テ取結ヒタルモノトス此設若ハ疑シキ場合ニ於テ之ヲ延期設若ナリトス

買主ハ其承諾前ニハ買受ルノ義務ナキモノトス賣主ハ買主ニ於テ契約又ハ其地慣例ノ期限ヲ經過スルマテ承諾ヲナサ、ルトキハ其義務ヲ免カル、モノトス

契約又ハ其地慣例ノ期限ナキトキ賣主ハ其狀況ニ相

當シタル期限ノ經過シタル後買主ニ陳述ヲナスヘキ

コトヲ督促スルヲ得買主ニ於テ督促ヲ受ケタル後直

ニ陳述セサルトキハ其義務ヲ免カル、モノトス

檢視賣買又ハ試験賣買ヲ以テ賣却シタル商品ヲ檢視

又ハ試験ノ爲メ既ニ交付シタル場合ニ於テ買主期限

ノ經過後マテ又ハ督促ヲ受ケテ黙過スルトキハ之ヲ

承諾シタルモノト看做ス

第三百四十條 見本賣買又ハ雛形賣買ハ設若ノモノニ

アラサルモ商品見本又ハ雛形ニ適當スヘキ義務ヲ賣

主ニ負ハシメテ取結ヒタルモノトス

第三百四十一條 試用賣買ハ旨趣アル無設若賣買ナリ



トス

第三百四十二條 賣主及買主ノ義務履行ノ地ニ付テハ  
 第三百二十四條第一項ノ規定ヲ適用スルモノトス  
 商品ノ交付ハ第三百二十四條第一項ノ規定ニ依リ別  
 段ノ定メ判然セザルトキハ賣主契約取結ヒノ際商店  
 ナ有セシ地其商店ナキトキハ住所ヲ有セシ地ニテ之  
 ナナスモノトス但契約取結ヒノ際他ノ地ニ存セシコ  
 トヲ契約者雙方知了シタル一定ノ物件ヲ賣却シタル  
 トキハ其交付ハ其地ニ於テ之ヲナスモノトス  
 代價ハ取引ノ性質又ハ契約又ハ商ヒ習慣ニ於テ別段  
 ノ定メナキトキニ限り商品交付ノ際之ヲ支拂フヘキ  
 モノトス其他ハ此支拂ニ付テモ亦第三百二十五條ノ

規定ヲ適用ス

第三百四十三條 賣主ハ買主ニ於テ商品ノ受取ヲ淹滞  
 セサル間ハ通常商人ノ注意ヲ以テ之ヲ保存スルノ義  
 務アルモノトス  
 買主商品ノ受取ヲ淹滞スルトキ賣主ハ買主ノ危険及  
 費用ヲ以テ之ヲ公然ノ倉庫又ハ他人ニ藏寄スルコト  
 ナ得ルモノトス又賣主ハ豫メ嚴告ヲナシタル後商品  
 ナ公賣ニ付セシムルノ權ヲ有シ又其商品相場會所又  
 ハ市場ノ時價ヲ有スルトキハ豫メ嚴告ヲナシタル後  
 公賣ニ付セシテ商業仲立人其仲立人ナキトキハ公  
 賣ニ付スルノ權アル官吏ニ依頼シ時價ヲ以テモ亦賣  
 却セシムルコトヲ得商品損敗シ易クシテ淹滞ノ危険



ブルトキハ豫メ嚴告ヲナスコトヲ要セス  
賣主ハ賣却ノ執行ヲ成ルヘク速ニ買主ニ通知スヘキ  
モノトス其通知ヲサ、ルトキ賣主ハ損害賠償ノ義  
務ヲ有ス

第三百四十四條 商品ヲ他ノ地ヨリ買主ニ送致スヘキ  
場合ニ於テ買主其送致ノ方法ニ付キ別ニ定メサルト  
キ賣主ハ通常商人ノ注意ヲ以テ買主ニ代リ其定メテ  
ナシ特ニ商品ノ運送ヲ擔當シ又ハ執行スヘキ人ヲ定  
ルコトヲ委任セラレタルモノト看做ス

第三百四十五條 商品ヲ運送受負人又ハ運送人又ハ其  
他商品ノ運送ニ從事スル人ニ交付シタル後買主ハ商  
品ノ被ル危險ヲ擔當スルモノトス但買主送致ノ方法

ニ付キ別段ノ差圖ヲ與ヘタル場合ニ於テ賣主已ムテ  
得サル事由ナクシテ其差圖ニ違フタルトキ賣主ハ之  
ニ依テ生シタル損害ニ付キ責任ヲ有ス  
賣主ハ契約ニ從ヒ運送ノ終ル地ヲ自己ニ對シ義務履  
行ノ地ト看做シ此地ニテ商品ヲ引渡スヘキ場合ニ於  
テハ運送中商品ノ被ル危險ヲ擔當スヘキモノトス賣  
主運送ノ費用又ハ立替ノ支拂ヲ擔當シタルモ未タ之  
レノミヲ以テハ運送ノ終ル地ヲ以テ賣主ニ對シ履行  
地ト看做スコトヲ得ス  
是ヨリ以前既ニ買主危險ヲ擔當スルコトヲ民法ニ定  
メタルトキニ限り本條ノ規定ニ依テ妨ケラル、コト  
ナキモノトス



第三百四十六條 買主ハ商品契約上ノ性質ヲ有スルト  
キ又ハ別段ノ契約ナキ場合ニ於テハ法律上ノ要件ニ  
適フ(第三百三十五條)トキニ限り之ヲ受取ルノ義務ア  
ルモノトス

其受取ハ契約又ハ其地ノ習慣又ハ狀況ニ依リ別段ノ  
定マリナキトキハ直ニ之ヲナスヘキモノトス

第三百四十七條 商品ヲ他ノ地ヨリ送致シタル場合ニ  
於テ通常ノ取引手續ヲ以テナスコトヲ得ルトキニ限  
リ買主ハ引渡ヲ受ケタル後遅延ナク其商品ヲ検査シ  
商品契約又ハ法律(第三百三十五條)ニ適セサルコトノ  
判然スルトキハ直ニ之ヲ賣主ニ通知スヘキモノトス  
買主通知ヲ怠ルトキハ商品ヲ承諾シタルモノト看做

ス但通常ノ引取手續ヲ以テ直ニ検査ヲナスノ際知了  
スルコト能ハサリシ瑕疵ニ付テハ此限ニアラス  
其検査後ニ瑕疵アルコトノ判然スルトキハ其發見後  
遅延ナク通知ヲナスヘキモノトス之ニ違フトキ商品  
ハ瑕疵ニ付テモ亦承諾セラレタルモノト看做ス  
前項ノ規定ハ檢視賣買又ハ試験賣買又ハ見本賣買ニ  
モ亦適用スルモノトス但送致セラレタル商品ノ瑕疵  
通常ノ檢視又ハ検査ヲナスノ際知了スルコト能ハサ  
リシモノナルトキニ限ル

第三百四十八條 買主ハ他ノ地ヨリ送致セラレタル商  
品ニ付キ異議スルトキハ一時其保存ヲ擔當スルノ義  
務アルモノトス



買主ハ引渡ヲ受ルノ際又ハ其後瑕疵アルコトノ判然  
 スルトキハ鑑定人ニ商品ノ現状ヲ確定セシムルコト  
 ナ得賣主ハ買主ニ於テ瑕疵アルカ爲メ商品ニ付キ異  
 議スルコトノ通知ヲナシタルトキ同一ノ方法ヲ以テ  
 其確定ヲ求ルノ權アルモノトス  
 鑑定人ハ關係者ノ申立ニ依リ商事裁判所之ヲ任スル  
 モノトス其裁判所ナキトキハ其地ノ裁判官之ヲ任ス  
 鑑定人ハ書面ヲ以テ又ハ筆記セシメテ其鑑定ヲナス  
 ヘキモノトス  
 商品損敗シ易クシテ淹滞ノ危險アルトキ買主ハ第三  
 百四十三條ノ規定ヲ遵守シテ商品ヲ賣却セシムルコ  
 トヲ得

第三百四十九條

商品ノ契約上又ハ法律上性質ノ瑕疵

ハ買主引渡ヲ受ケタルヨリ六月ヲ經過シタル後始メ  
 テ發見シタルトキハ之ヲ申立ルコトヲ得ス  
 瑕疵ノ爲メ賣主ニ對スル訴訟ハ買主ニ引渡シタル後  
 六月ヲ經テ期滿得免トナルモノトス  
 辯駁ハ買主ニ引渡シタル後六月内ニ第三百四十七條  
 ニ規定シタル瑕疵ノ通知ヲ直ニナサ、リシトキハ消  
 滅スルモノトス其通知ヲナシタルトキハ辯駁ハ存ス  
 ルモノトス  
 物件ノ各種類ニ付キ之ヨリ短キ期限ヲ定メタル特別  
 法又ハ商ヒ習慣ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノ  
 トス



賣主ノ責任ヲ契約ヲ以テ之ヨリ短期限又ハ長期限ニ確定シタルトキハ之ニ從フモノトス

第三百五十條 第三百四十七條及第三百四十九條ノ規定ハ詐偽ノ場合ニ於テ賣主ニ對シ其効ナキモノトス

第三百五十一條 其地ノ習慣又ハ特別ノ契約ニ依リ別段ノ定メナキトキニ限リ賣主ハ交付特ニ秤量ノ費用ヲ擔當シ買主ハ受取ノ費用ヲ擔當スルモノトス

第三百五十二條 商品ノ目方ニ從テ代價ヲ計算スヘキ場合ニ於テ特別ノ契約又ハ交付ノ地ノ商ヒ習慣ニ依リ別段ノ定マリナキトキハ外包ノ目方(風袋)ヲ引去ルモノトス精密ナル秤定ヲナスシテ一定ノ目方又ハ割合ニ從ヒ風袋ヲ引去ルヘキヤ及其額並ニ買主ヲ利

スル爲メ增目方トシテ計算スヘキヤ及其額又ハ損傷ノ部分又ハ使用ニ堪ヘサル部分(不足部分)ノ補償トシテ要求スルコトヲ得ルヤ及其額ハ契約又ハ交付ノ地ノ商ヒ習慣ニ從テ之ヲ判定スヘキモノトス

第三百五十三條 契約ニ於テ市場又ハ相場會所ノ時價ヲ以テ代價ト定メタルトキ疑シキ場合ニ於テハ其代價ハ履行ノ時及地又ハ履行地ノ標準トナル商ヒ地ニ於テ之カ爲メ存スル其地ノ制規ニ從ヒ確定シタル代價ナリトシ其確定ナキトキ又ハ其不當ヲ證明シタルトキハ履行ノ時及地ニ於テ取結ヒタル賣買契約ヲ比較シテ得ル平均價ナリトス

第三百五十四條 買主代價ノ支拂ヲ淹滞シタル場合ニ



於テ未タ商品ヲ交付セザリシトキハ賣主ハ契約ノ履行及履行ノ遅延シタルニ付テノ損害賠償ヲ求ルヤ又ハ履行ニ代ヘ第三百四十三條ノ規定ヲ遵守シ買主ノ計算ヲ以テ其商品ヲ賣却シ及其損害賠償ヲ要求スルヤ又ハ契約ヲ取結ハサリシトキト均シク解約セント欲スルヤヲ撰定スルコトヲ得

第三百五十五條 賣主商品ノ交付ヲ淹滞スルトキ買主ハ履行及履行ヲ遅延シタルニ付テノ損害賠償ヲ求ルヤ又ハ履行ニ代ヘ履行セサルニ付テノ損害賠償ヲ要求スルヤ又ハ契約ヲ取結ハサリシトキト均シク解約セント欲スルヤヲ撰定スルコトヲ得

第三百五十六條 契約者ノ一方前條ノ規定ニ依リ履行

ニ代ヘ履行セサルニ付テノ損害賠償ヲ要求シ又ハ解約セント欲スルトキハ之ヲ他ノ一方ニ通知シ及取引ノ性質ニ於テナスコトヲ得ルトキ尙ホ懈怠ヲ補フ爲メニ狀況ニ適當スル期限ヲ與フヘキモノトス

第三百五十七條 確定ノ時又ハ確定ノ期限内ニ商品ヲ確カニ渡スヘキコトヲ約束シタルトキハ第三百五十六條ハ之ヲ適用セサルモノトス買主并ニ賣主ハ第三百五十四條又ハ第三百五十五條ニ從ヒ之ニ屬スル權利ヲ自己ノ撰定ヲ以テ執行スルコトヲ得但履行ヲ求メント欲スル者ハ其時又ハ期限ノ經過シタル後遅延ナク之ヲ他ノ一方ニ通知スヘキモノトス之ヲ怠ルトキハ其後ニ至リ履行ヲ求ルコトヲ得ス



賣主履行ニ代ヘ懈怠シタル買主ノ計算ヲ以テ賣却セ  
 ント欲スルトキハ商品市場又ハ相場會所ノ時價ヲ有  
 スル場合ニ於テハ其時又ハ期限ノ經過シタル後遅延  
 ナク賣却ヲナスヘキモノトス之ヨリ以後ニナス賣却  
 ハ買主ノ計算ヲ以テナシタルモノト看做サス豫メナ  
 ス嚴告ハ之ヲ要セス之ニ反シテ賣主ハ此場合ニ於テ  
 モ亦其ナシタル賣却ヲ買主ニ遅延ナク通知スヘキモ  
 ノトス

買主履行ニ代ヘ履行セサルニ付テノ損害賠償ヲ要求  
 スルトキ商品市場又ハ相場會所ノ時價ヲ有スル場合  
 ニ於テ賣主ノナスヘキ損害賠償ノ額ハ代價ト引渡ヲ  
 ナスヘキ時及地ノ市場及相場會所ノ時價トノ差額ヲ

リトス但之ヨリ高額ノ損害ヲ證明スルコトヲ得ルト  
 キ之ヲ申立ル買主ノ權利ハ格別ナリトス

第三百五十八條 第三百五十七條ノ場合ニ於テ契約者  
 ノ各方ハ他ノ一方ノ淹滞ヲ其費用ヲ以テ公製證書ニ  
 依リ確定セシムルノ權アルモノトス

第三百五十九條 第三百五十四條第三百五十五條及第  
 三百五十七條ノ場合ニ於テ狀況特ニ契約ノ性質契約  
 者雙方ノ意又ハ辨濟スヘキ物件ノ性質ニ依リ契約ノ  
 履行ヲ雙方ニ於テ分割スルヲ得ルコトノ判然スルト  
 キ契約者一方ノ解約ハ他ノ一方ノ履行セサル契約ノ  
 部分ニ限り之ヲナスコトヲ得ルモノトス

第三章 仲買取引



第三百六十條 仲買人ハ常業トシテ依託人ノ計算ヲ以テ自己ノ名ニテ商ヒ取引ヲ取結フ者ナリトス  
 仲買人ハ他人ト取結フ取引ニ依リ獨リ權利及義務ヲ有スルモノトス依託人ト他人トノ間ニハ之ニ依テ一モ權利及義務ヲ生セサルモノトス  
 依託人自己ノ名ヲ以テ取結フヘキコトヲ明定シタルトキハ商人ノ仲買ニアラス商ヒ取引ノ爲メニスル通常ノ依託ナリトス

第三百六十一條 仲買人ハ通常商人ノ注意ヲ以テ依託人ノ爲メ依託ニ從ヒ取引ヲナスヘキモノトス仲買人ハ依託人ニ必要ナル通知ヲナシ特ニ依託ヲ執行シタル後直ニ之ヲ通知スヘシ又取引ニ付キ計算書ヲ依託

人ニ差出シ及仲買人取引ニ依リ要求スヘキモノヲ依託人ニ辨濟スヘキモノトス

第三百六十二條 仲買人擔當シタル依託ニ背キ處置スルトキハ依託人ニ損害賠償ヲナスノ義務アルモノトス依託人ハ自己ノ計算ヲ以テ取引ヲナシタルモノト看做サ、ルモ妨ケナシ

第三百六十三條 仲買人差圖ヲ受ケタルヨリ以下ノ代價ヲ以テ賣却シタルトキハ依託人ニ其代價ノ差額ヲ償フヘキモノトス但仲買人差圖ヲ受ケタル價ニテ賣却ヲナスコト能ハザリシコト及賣却ヲナシタルニ依リ依託人ノ損害ヲ防キタルコトヲ證明スルトキハ此限ニアラス



第三百六十四條 仲買人買入ノ爲メ差圖ヲ受ケタル代價ヲ超ヘタルトキ委託人ハ其買入ヲ自己ノ計算ヲ以テナシタルモノニアラストシテ退ルコトヲ得但仲買人買入ノ通知ト共ニ差額償フコトヲ申入ル、トキハ此限ニアラス

其買入ヲ自己ノ計算ヲ以テシタルモノニアラストシテ退ケント欲スル委託人ハ買入通知ノ後遅延ナク之ヲ陳述スヘキモノトス之ニ違フトキハ委託ノ超過ヲ承諾シタルモノト看做ス

第三百六十五條 仲買人ニ送致スル貨物其引渡ノ際外面ニ於テ知了スルコトヲ得ヘキ損傷又ハ瑕疵ノ狀況アルトキ仲買人ハ運送人又ハ船長ニ對スル權利ヲ維

持シ其狀況ノ證明ヲナシ及委託人ニ遅延ナク通知スヘキモノトス

之ヲ怠ル場合ニ於テ仲買人ハ之ニ依テ生シタル損害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

仲買人ハ其狀況ヲ鑑定人ニ確定セシメ及其貨物損敗シ易クシテ淹滞ノ危険アルトキハ第三百四十三條ノ規定ヲ遵守シテ貨物ノ賣却ヲナスコトヲ得

第三百六十六條 貨物ニ價ヲ失フノ恐レアル變更ヲ生シ委託人ノ差圖ヲ得ヘキ時日ナキトキ又ハ委託人差圖ヲナスコトヲ怠リタルトキハ仲買人ハ第三百四十三條ノ規定ヲ遵守シテ其貨物ノ賣却ヲナスコトヲ得

委託人事情ニ依リ貨物ニ付キ差圖ヲナスノ義務アル



モ之ヲ怠ル總テノ場合ニアリテハ仲買人ハ前項同一ノ權ヲ有スルモノトス

第三百六十七條 仲買人ハ貨物ノ保管人タル間ハ其喪失又ハ損傷ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス但仲買人通常商人ノ注意ヲ以テ防クコトヲ得サリシ狀況ニ依リ其喪失又ハ損傷ノ生シタルコトヲ證明スルトキハ此限ニアラス

仲買人ハ依託人ヨリ保險ノ依託ヲ受ケタルトキニアラサレハ貨物ノ保險ヲ怠リタルニ付キ責任ヲ負擔スルコトナキモノトス

第三百六十八條 依託人ハ仲買人ノ取結ヒタル取引ヨリ生スル要求ヲ讓受ケタル後負債者ニ對シ始メテ執

行スルコトヲ得

但其要求ハ之ヲ讓受ケサルトキト雖依託人ト仲買人又ハ其債主トノ間ノ關係ニ於テハ依託人ノ要求ト看做ス

第三百六十九條 依託人ノ承諾ナクシテ他人ニ前拂又ハ掛賣ヲナス仲買人ハ自己ノ危險ヲ以テ之ヲナスモノトス

但取引ヲナス地ニ於テ代價ノ貸付ヲナスノ商ヒ習慣アル場合ニ限り依託人ヨリ別段ノ差圖ナキトキハ仲買人モ亦其掛賣ヲナスノ權アルモノトス  
仲買人權利ナクシテ掛賣ヲシタルトキハ之ヲ承諾セサル依託人ニ對シ代價ノ負債者トナリテ直ニ支拂



ヲナスヘキモノトス仲買人賣却ノ際現金ニテハ代價  
一層低價ナリシコトヲ證明スルトキハ其低價ノミヲ  
依託人ニ償ヒ其低價依託セラレタル代價ヨリモ低價  
ナルトキハ第三百六十三條ノ規定ニ從ヒ其差額ヲモ  
亦償フヘキモノトス

第三百七十條 仲買人ハ契約者ノ支拂又ハ其他ノ方法  
ヲ以テスル義務履行ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス  
但其責任ノ負擔ハ仲買人之ヲ引受ケタルトキ又ハ其  
肆店ノ地ノ商ヒ習慣ナルトキニ限ル

契約者ニ代ハリ責任ヲ負擔スル仲買人ハ支拂満期ト  
ナリタルトキ相當ノ履行ヲナスコトニ付キ依託人ニ  
對シ直接及無限ノ義務ヲ負擔スルモノトス但其履行

契約ノ關係ニ依リ一般ニ法律上要求スルコトヲ得ル  
トキニ限ル

契約者ニ代ハリ責任ヲ負擔スル仲買人ハ之カ爲メ報  
酬ヲ請求スルノ權アルモノトス

第三百七十一條 依託人ハ仲買人ノ立替又ハ一般ニ取  
引ヲ完結スル爲メ必要又ハ有益ナル支出ヲ之ニ償フ  
ノ義務アルモノトス仲買人ノ倉庫及運送具ノ使用并  
ニ其使用人ノ勞力ノ使用ニ付テノ償モ亦其費用ニ屬  
ス

仲買人ハ取引ヲ執行シタルトキハ其手数料ヲ要求ス  
ヘキモノトス執行セサル取引ニ付テハ手数料ヲ要求  
スルコトヲ得ス但其地ノ習慣アルトキニ限り返品手



數料ヲ要求スルノ權ヲ有ス

第三百七十二條 仲買人依託人ノ指定シタルヨリ餘分ノ利益アル契約ヲ取結ヒタルトキハ其利益ハ依託人ノミニ歸スルモノトス

此規定ハ特ニ仲買人賣却シタル代價依託人ノ指定シタル最低代價ヲ超ルトキ又ハ仲買人ノ買入レタル代價依託人ノ指定シタル最高代價ニ達セサルトキ之ヲ適用スルモノトス

第三百七十三條 爲替ノ買入ヲ引受ケタル仲買人ハ其爲替ヲ裏書ヲ以テ讓渡ストキハ正當ニ制限ヲ加ルコトナクシテ裏書讓渡ヲナスヘキモノトス

第三百七十四條 仲買人ハ仲買貨物ヲ尙ホ其手中ニ存

シ又ハ其他特ニ運送狀積荷證書又ハ藏敷證書ヲ以テ其貨物ヲ處分スルコトヲ得ルトキニ限り其貨物ニ付キ支拂ヒタル費用手数料其貨物ニ付キナシタル前拂及貸附其貨物ニ付キ署名シタル爲替又ハ其他ノ方法ニ於テ負擔シタル義務并ニ仲買取引ニ關スル繼續計算ニ依リ生スル總テノ要求ニ付キ貨物ニ對シ質主權ヲ有スルモノトス

仲買人ハ前項ニ掲ケタル請求ニ付テハ仲買取引ニ依テ生シ未タ取立テサル要求ヨリ依託人及其債主ニ先立テ辨償ヲ受ルコトヲ得

第三百七十五條 依託人仲買人ニ對シ前條ニ掲ケタル義務ノ履行ヲ淹滯スルトキ仲買人ハ第三百十條ノ規



定ヲ遵守シ仲買貨物ヨリ辨償ヲ受ルノ權アルモノト  
ス又仲買人ハ依託人ノ其他ノ債主及倒産額ニ對シテ  
モ亦其權ヲ有ス

第三百七十六條 相場會所又ハ市場ノ時價ヲ有スル商  
品爲替及有價證券ノ買入又ハ賣却ノ爲メニスル仲買  
ニアリテハ仲買人ハ依託人別段ノ差圖ヲナサ、リシ  
トキ其買入ルヘキ貨物ヲ自ラ賣主トナリテ引渡シ又  
ハ賣却ノ依託ヲ受ケタル貨物ヲ買主トナリテ自己ニ  
取置クノ權アルモノトス

此場合ニ於テ買入又ハ賣却ニ付テノ計算書ヲ差出ス  
ヘキ仲買人ノ義務ハ其計算シタル代價ニ於テ依託執  
行ノ時ノ相場會所又ハ市場ノ時價ヲ守リタルコトヲ

證明スルニ止マルモノトス又仲買人ハ通常ノ手数料  
ヲ請求スルノ權ヲ有シ及仲買取引ニアリテ其他通例  
生スル費用ヲ計算スルコトヲ得

仲買人依託ヲ執行シタルコトニ付テノ通知ト同時ニ  
他人ヲ其買主又ハ賣主トシテ指名セザルトキ依託人  
ハ仲買人ヲ買主又ハ賣主トシテ之ニ請求スルノ權アル  
モノトス

第三百七十七條 依託人其依託ヲ取戻ス場合ニ於テ其  
依託ヲ執行シタルコトニ付テノ通知ヲ發送スル爲メ  
ニ差出ス前其取戻ノ仲買人ニ達スルトキハ仲買人自  
ラ買主又ハ賣主トナルノ權ヲ施行スルコトヲ得ス

第三百七十八條 此章ノ規定ハ仲買取引ヲ通常ノ商ヒ



營業トナサ、ル商人各個ノ商ヒ取引ヲ他人ノ計算ヲ以テ自己ノ名ニテ取結フトキニモ亦之ヲ適用スヘキモノトス

第四章 運送受負取引

第三百七十九條 運送受負人ハ他人ノ計算ヲ以テ自己ノ名ニテ運送人又ハ船長ニ荷物運送ヲナサシムルコトヲ常業トシテ受負フ者ナリトス

第三百八十條 運送受負人荷物ヲ受取り又ハ保管スルノ際又ハ運送人船長又ハ間接運送受負人ヲ撰定スルノ際及一般ニ其受負ヒタル荷物運送ヲ執行スルノ際通常商人ノ注意ヲ怠リタルニ依リ生スル損害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

運送受負人ハ此注意ヲナシタルコトヲ證明スヘキモノトス

第三百八十一條 運送受負人ハ手数料及立替及費用又ハ一般ニ運送ノ爲メ必要又ハ有益ナル支出(第三百七十一條)ノ辨償ヲ要求スヘキモノトス

運送受負人ハ運送人又ハ船長ト契約シタルヨリ高額ノ運賃ヲ計算スルノ權ナキモノトス

第三百八十二條 運送受負人ハ尙ホ其手中ニ存シ又ハ處分スルコトヲ得ルトキニ限り運賃、手数料、立替、費用及支出及荷物並ニ荷物依頼人ノ爲メニナシタル前拂ニ付キ荷物ニ對シ質主權ヲ有スルモノトス  
運送受負人ハ所有者ノ其他ノ債主及倒産額ニ對シテ



モ亦其權ヲ執行スルコトヲ得

運送受負人間接運送受負人ヲ使用スルトキ間接運送受負人ハ同時ニ其前運送受負人ニ屬スル權利特ニ其質主權ヲ執行スヘキモノトス

前運送受負人自己ノ要求ニ付キ後運送受負人ヨリ辨償ヲ受ケタルトキニ限り前運送受負人ノ要求及質主權ハ法律上後運送受負人ニ移轉スルモノトス又運送人間接運送受負人ヨリ辨償ヲ受ケタルトキ及其額ニ限り運送人ノ要求及質主權ニ付テモ亦同一ナリトス

第三百八十三條 運送人又ハ船長ニ運送ヲナサシムルモ自己ノ計算ニテ借入レタル運送器ヲ以テスル運送受負人ハ通常ノ運賃及手数料及其他ノ費用ヲ計算ス

ルコトヲ得

第三百八十四條 運送受負人荷物差立人又ハ荷物受取人ト運送費ノ一定額ニ付キ契約シタルトキ運送受負人ハ反對ノ契約ナキトキ自己ノ依託シタル間接受負人及運送人ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス運送受負人ハ此場合ニ於テ運送費ノ一定額ノ外手数料ヲ要求スルコトヲ得ルノ契約ヲナシタルトキニ限り之ヲ要求スルノ權ヲ有ス

第三百八十五條 運送受負人ハ別段ノ定メナキトキハ自ラ荷物ノ運送ヲ執行スルノ權アルモノトス運送受負人ハ此權ヲ施行スルトキ同時ニ運送人ノ權利及義務ヲ有ス及通常ノ運賃手数料及運送受負取引



ニ於テ其他通常生スル費用ヲ計算スルコトヲ得  
 第三百八十六條 荷物ノ全喪失、減少又ハ損傷又ハ引渡  
 淹滞ニ付キ運送受負人ニ對スル訴訟ハ一年ノ後期滿  
 得免トナルモノトス  
 其期限ハ全喪失ニ付テノ訴訟ニ關シテハ引渡ヲナサ  
 、ルヘカリシ日ノ經過ヲ以テ始マリ減少又ハ損傷又  
 ハ引渡淹滞ニ付テノ訴訟ニ關シテハ引渡ヲナシタル  
 日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス  
 荷物ノ喪失又ハ減少又ハ損傷又ハ引渡淹滞ニ付テノ  
 辯駁ハ其事實ノ通知ヲ一年ノ期限内ニ運送受負人ニ  
 發送セザルトキハ前項同一ノ方法ニ依リ消滅スルモ  
 ノトス

本條ノ規定ハ運送受負人ノ詐偽又ハ破信ノ場合ニハ  
 之ヲ適用セザルモノトス

第三百八十七條 運送受負人ノ權利及義務ハ本章ニ於  
 テ之ニ付キ規定ヲ掲ケサル場合ニ限り前章ノ原則ニ  
 從ヒ判定スヘキモノトス特ニ第三百六十五條ヨリ第  
 三百六十七條マテニ於テ仲買人ノ爲メニ設ケタル規  
 定ハ運送受負人ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第三百八十八條 運送受負人ヲ通常ノ商ヒ營業トナサ、  
 ル商人他人ノ計算ヲ以テ自己ノ名ニテ運送人又ハ船  
 長ニ荷物運送ヲナサシムルコトヲ受負フトキハ其取  
 引ニ付キ本章ノ規定ヲ適用スルモノトス

第三百八十九條 本章ノ規定ハ荷物差立人ト運送人又



ハ船長トノ間ニ於ケル運送契約ノ媒介ノミヲナス者  
(運送仲立人荷物鑑別人船舶周旋人)ニハ之ヲ適用セサ  
モルノトス

第五章 運送取引

第一節 一般ノ運送取引

第三百九十條 運送人ハ陸地又ハ河川内海ニ於テ荷物  
ノ運送ヲ常業トシテナス者ナリトス

第三百九十一條 運送狀ハ運送人ト荷物差立人トノ間  
ニ於ケル契約ニ付テノ證據トナルモノトス

運送人ハ運送狀ノ交付ヲ求ルコトヲ得

第三百九十二條 運送狀ニハ左ノ件々ヲ記載スルモノ  
トス

第一 荷物ノ性質數量及記號

第二 運送人ノ氏名及住地

第三 荷物差立人ノ氏名

第四 荷物ヲ受取ルヘキ者ノ氏名

第五 引渡ノ地

第六 運賃ニ付テノ定メ

第七 運送狀交付ノ地及日

第八 雙方ニ於テ他ノ點即チ運送ヲナスヘキ期限

及引渡淹滞ニ付テノ損害賠償ニ關シ特別ノ契約

ヲナシタルトキハ其契約

第三百九十三條 荷物差立人ハ荷物受取人ニ引渡ス前  
關稅又ハ租稅官ノ處置ヲ受ル荷物ニアリテハ之カ爲



メニ必要ナル添狀ヲ運送人ニ渡スノ義務アルモノト  
ス又荷物差立人ハ運送人ニ對シ添狀ノ不正又ハ不完  
全ナルカ爲メ被ル總テノ罰及損害ニ付キ責任ヲ負擔  
スルモノトス但運送人ノ過失ニ出ルトキハ此限ニア  
ラス

第三百九十四條 運送人運送ヲナスヘキ期限ニ付キ運  
送契約ニ全ク定メナキトキ旅行ヲ始ムヘキ期限ハ其  
地ノ習慣ニ依テ定マルモノトス其習慣ナキトキ其旅  
行ハ場合ノ狀況ニ適當スル期限内ニ始ムヘキモノト  
ス  
旅行ノ初發又ハ繼續天災又ハ其他ノ時變ニ依リ一時  
障礙セララルトキ荷物差立人ハ其障礙ノ消滅ヲ俟ツ

コトヲ要セスシテ契約ヲ解クコトヲ得ルモ其障礙運  
送人ノ過失ニ出テサルトキニ限り旅行ノ準備費荷卸  
ノ費用及既ニ經過シタル旅行ニ關スル請求ニ付キ運  
送人ニ賠償スヘキモノトス賠償額ニ付テハ其地ノ習  
慣ニ依テ之ヲ定メ其習慣ナキトキハ裁判官ノ見込ヲ  
以テ之ヲ定ム

第三百九十五條 運送人ハ荷物ヲ受取りタルヨリ引渡  
スマテニ於テ運送荷物ノ喪失又ハ損傷ニ依リ生シタ  
ル損害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス但運送人天災  
又ハ物品ノ本質即チ内部ノ損敗消散又ハ通常ノ漏失  
等ニ依リ又ハ外面ヨリ知了スルコト能ハサル外包ノ  
瑕缺ニ依リ喪失又ハ損傷ヲ生シタルコトヲ證明スル



トキハ此限ニアラス  
高價物、金錢及有價證券ニ付キ運送人ハ荷物ノ其性質  
又ハ價額ヲ示サレタルトキニ限り其責任ヲ負擔スル  
モノトス

第三百九十六條 前條ニ依リ運送人ニ於テ荷物ノ喪失  
又ハ損傷ニ付キ賠償ヲナスヘキトキ損害ノ計算ハ荷  
物普通ノ賣買價ノミヲ標準トシテ之ヲナスヘキモノ  
トス  
喪失ノ場合ニアリテハ同一ノ種類及性質ノ荷物引渡  
ノ地ニ於テ引渡スヘキ時ニ有セシ普通ノ賣買價ヲ以  
テ償フヘキモノトス但喪失ノ爲メニ關稅及費用ヲ免  
レタルモノハ其賣買價ヨリ扣除ス

損傷ノ場合ニアリテハ毀損ノ狀況ニ於ケル荷物ノ賣  
却價ト引渡ノ地及時ニ於テ其損傷ナクシテ荷物ノ有  
シタルヘキ普通ノ賣買價トノ差額ヲ償フヘキモノト  
ス但關稅及費用ヲ損傷ノ爲メ免レタルトキニ限り關  
稅及費用ハ之ヲ扣除ス  
荷物全ク賣買價ヲ有セサルトキ損害ノ計算ハ其荷物  
ノ普通原價ヲ標準トシテ之ヲナスヘキモノトス  
運送人ハ惡意ノ措置ヲ證明セラルトキハ損害ノ全  
額ヲ償フヘキモノトス  
第三百九十七條 運送人ハ契約又ハ習慣上ノ引渡期限  
ヲ懈怠シタルニ依リ生シタル損害ニ付テハ通常運送  
人ノ注意ヲ以テ其淹滯ヲ防クコト能ハサルコトヲ證



明セサルトキニ限り責任ヲ負擔スルモノトス

第三百九十八條 引渡ヲ淹滞シタル場合ノ爲メ運賃ノ  
扣除又ハ運賃ノ喪失又ハ其他違約罰ヲ契約シタルト  
キ其疑シキ場合ニ於テハ其他此額ヲ超過スル損害ニ  
シテ引渡ヲ淹滞ニ依リ生シタルモノ、償ヲモ亦要求  
スルコトヲ得

第三百九十九條 運送人通常運送人ノ注意ヲ以テ淹滞  
ヲ防クコト能ハサルコトヲ證明スルトキハ引渡ヲ淹  
滞シタルガ爲メニ運賃ノ全部又ハ一部ノ契約上收置  
又ハ違約罰ヲ請求セラル、コトナキモノトス但契約  
ニ依リ反對ノ意判然スルトキハ此限ニアラス  
第四百條 運送人ハ其受負ヒタル運送ヲ執行スルノ際

使役スル使用人及其他ノ人ニ付キ責任ヲ負擔スルモ  
ノトス

第四百一條 運送人其受負ヒタル運送ノ全部又ハ一部  
ヲ執行スル爲メ荷物ヲ他ノ運送人ニ交付スルトキハ  
此運送人及其後ノ運送人ニ付キ引渡ニ至ルマテ責任  
ヲ負擔スルモノトス

他ノ運送人ニ繼ク各運送人ハ荷物ト最初ノ運送狀ト  
ヲ受取り其運送狀ニ基キ運送契約ニ加リ運送狀ノ旨  
趣ニ從ヒ運送ヲ執行スヘキ獨立ノ義務ヲ負擔シ及前  
運送人ノ既ニナシタル運送ニ關シテモ亦其義務ニ付  
キ責任ヲ負擔スヘキモノトス

第四百二條 運送人ハ引渡ノ地ニ荷物ノ到着シタル後



荷物受取人ニ運送狀ヲ交付セサル間ハ荷物ヲ返付シ又ハ運送狀ニ記載シタルヨリ他ノ受取人ニ荷物ヲ引渡ス爲メ後ニ至リ荷物差立人ノナス差圖ヲ遵守スヘキモノトス

既ニ運送狀ヲ受取人ニ交付シタルトキ運送人ハ運送狀ニ記載シタル荷物受取人ノ差圖ニ限り遵守スヘキモノトス之ニ違フトキハ其受取人ニ對シ荷物ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

第四百三條 運送人ハ引渡地ニ於テ運送狀ニ記載シタル荷物受取人ニ運送荷物ヲ交付スルノ義務アルモノトス

第四百四條 運送狀ニ記載シタル荷物受取人ハ引渡地

ニ荷物ノ到着スル前運送人ニ對シ荷物ヲ保全スル爲メニ必要ナル總テノ處分ヲナシ之カ爲メ必要ナル差圖ヲナスノ權アルモノトス荷物受取人ハ引渡地ニ荷物ノ到着スル前ニアリテハ荷物差立人運送人ニ引渡ノ委任ヲナシタルトキニ限り其引渡ヲ要求スルコトヲ得

第四百五條 引渡地ニ運送人ノ到着シタル後運送狀ニ記載シタル荷物受取人ハ運送契約ニ依テ生シタル權利ヲ運送狀ニ依テ生スル義務履行ニ代ヘ自己又ハ他人ノ爲メニスルト否トニ拘ハラズ運送人ニ對シ自己ノ名ヲ以テ執行スルノ權アルモノトス特ニ運送人ニ對シ運送狀ノ交付及荷物ノ引渡ヲ求ルノ權ヲ有ス但



荷物差立人訴訟ヲナス前第四百二條ニ從ヒ尙ホ許サレタル反對ノ差圖ヲ運送人ニ對シナシタルトキハ此限ニアラス

第四百六條 荷物及運送狀ヲ受取ルニ依リ荷物受取人ハ運送狀ニ從ヒ運送人ニ支拂ヲナスノ義務ヲ負擔スルモノトス

第四百七條 運送狀ニ記載シタル荷物受取人ヲ索知スルコトヲ得ス又ハ其受取人荷物ノ受取ヲ拒ムトキ又ハ荷物ノ受取又ハ現狀ニ付キ争ヒノ生スルトキ關係者ハ鑑定人ヲシテ其現狀ヲ確定セシムルコトヲ得ルモノトス

鑑定人ハ關係者ノ申立ニ依リ商事裁判所之ヲ任スル

モノトス商事裁判所ナキトキハ其地ノ裁判官之ヲ任ス

鑑定人ハ其鑑定ヲ書面ヲ以テ又ハ筆記セシメテナスヘキモノトス

裁判所ハ關係者ノ申立ニ依リ荷物ヲ公然ノ倉庫又ハ他人ニ藏寄スルコト及運送人ノ運賃及其他ノ要求ヲ支拂フ爲メ荷物ノ全部又ハ相當ノ部分ヲ公賣スルコトヲ命スルヲ得

鑑定人ノ任命ヲ求ル申立及荷物ヲ藏寄スルコト及賣却スルコトニ付テノ裁判所ノ命令ヲ求ル申立ニ關シテハ對手其地ニ現在スルトキハ之ヲ尋問スルモノトス  
第四百八條 荷物ヲ受取り及運賃ヲ支拂フニ依リ運送



人ニ對スル各請求ハ消滅スルモノトス  
 引渡ノ際外面ヨリ知了スルコト能ハサリシ喪失又ハ  
 損傷ニ限り運送人ニ對シ荷物ヲ受取り及運賃ヲ支拂  
 フタル後ト雖之ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但其  
 喪失又ハ損傷ノ確定ヲ其發見後遲延ナク申立テ及其  
 喪失損傷ノ荷物ヲ受取りタルヨリ引渡スマテノ間ニ  
 生シタルコトヲ證明スルトキニ限ル  
 荷物ノ喪失又ハ損傷又ハ引渡淹滞ノ爲メ運送受負人  
 ニ對スル訴訟及辯駁ノ期滿得免ニ付テノ規定(第三百  
 八十六條)ハ運送人ニモ亦之ヲ適用スルモノトス  
 第四百九條 運送人ハ運送契約ニ依テ生シタル總テノ  
 要求特ニ運賃及猶豫金ニ付キ並ニ關稅及其他ノ立替

ニ付キ運送荷物ニ對シ質主權ヲ有スルモノトス此質  
 主權ハ荷物ヲ留置シ又ハ藏寄シタル間存シ引渡後ト  
 雖尙ホ繼續ス但運送人引渡後三日内ニ質主權ヲ裁判  
 所ニ申立テ及荷物尙ホ荷物受取人又ハ其受取人ニ代  
 リ現有スル他人ノ手ニ存スルトキニ限ル  
 運送人ハ自己ニ辨償ヲ受ル爲メ荷物ノ全部又ハ一部  
 ヲ賣却セシムルコトヲ得(第四百七條)  
 運送人ハ所有者ノ其他ノ債主及倒産額ニ對シテモ亦  
 此權ヲ有スルモノトス  
 第四百十條 荷物數名ノ運送人ノ手ヲ經ルトキ最終ノ  
 運送人ハ運送狀ニ反對ノ定メナキトキニ限り引渡ノ  
 際運送狀ニ依リ生スル前運送人ノ要求ヲモ亦取立テ



及其運送人ノ權利特ニ質主權ヲモ亦執行スヘキモノトス

後運送人ヨリ辨償ヲ受ケタル前運送人ハ其要求及質主權ヲ法律上後運送人ニ讓渡スモノトス

運送受負人ノ要求及質主權ハ前項同一ノ方法ニ於テ後運送受負人及運送人ニ移轉スルモノトス

前權利者ノ質主權ハ最終ノ運送人ノ質主權ノ存スル間ハ存スルモノトス

第四百十一條 同一ノ荷物ニ付キ第三百七十四條第三百八十二條及第四百九條ニ從ヒ生シタル二個又ハ數個ノ質主權ノ存スル場合ニ於テ荷物ノ依頼又ハ運送ニ依リ生シタル質主權ニアリテハ後ニ生シタル質主

權ハ前ニ生シタル質主權ニ先行スルモノトス此質主權ハ總テ前拂ニ付テノ仲買人ノ質主權及運送受負人ノ質主權ニ先立テ運送受負人ノ質主權ニアリテハ前ニ生シタル質主權後ニ生シタル質主權ニ先行スルモノトス

第四百十二條 運送人支拂ヲ受取ラスシテ荷物ヲ引渡シ及其引渡後三日内ニ質主權ヲ裁判所ニ申立テサルトキハ其運送人並ニ前運送人及運送受負人ハ先人ニ對シ償還要求ヲナスノ權ヲ失ヒ荷物受取人ニ對スル請求權ハ其効力ヲ失フコトナキモノトス

第四百十三條 荷物差立人及運送人ハ運送人ニ於テ荷物差立人ニ積荷證書ヲ交付スルコトヲ契約スルヲ得



積荷證書ハ運送人之ニ依テ荷物ヲ交付スルノ義務ヲ  
負擔スル證書ナリトス

第四百十四條 積荷證書ニハ左ノ件々ヲ記載スルモノ  
トス

第一 積荷ノ性質數量及記號

第二 運送人ノ氏名及住地

第三 荷物差立人ノ氏名

第四 荷物ヲ受取ルヘキ人又ハ其指名ニテ荷物ヲ

受取ルヘキ人ノ氏名其積荷證書單ニ指名ニテ作

リタルトキハ荷物差立人ヲ指名人ナリトス

第五 引渡ノ地

第六 運賃ニ付テノ定メ

第七 積荷證書交付ノ地及日

積荷證書ニハ運送人署名スヘキモノトス

荷物差立人ハ運送人ノ求メニ依リ自己ノ署名シタル

同文ノ積荷證書ノ謄本ヲ之ニ交付スヘキモノトス

第四百十五條 積荷證書ハ運送人及荷物受取人ノ間ニ

於ケル權利上關係ニ付テノ標準トナルモノトス積荷

證書ニ記載セサル運送契約ノ定メハ荷物受取人ニ對

シ法律上効力ナキモノトス但其定メヲ明ニ引用シタ

ルトキハ此限ニアラス

運送人及荷物差立人ノ間ニ於ケル權利上關係ニ付テ

ハ運送契約ノ規定ヲ標準トナスモノトス

第四百十六條 運送人積荷證書ヲ交付シタルトキ運送



人ハ積荷證書ノ返付ヲ受ルトキニアラサレハ荷物ヲ返付シ又ハ積荷證書ニ依リ正當ナル受取人ヨリ他ノ者ニ荷物ヲ引渡ス爲メ後ニ至リ荷物差立人ノナス差圖ヲ遵守スルヲ要セス運送人此規定ニ違ヒ處置スルトキハ積荷證書ノ正當ナル持主ニ對シ荷物ニ付キ義務ヲ負擔スルモノトス

第四百十七條 積荷證書ニ依リ荷物ヲ引渡サルヘキ者又ハ積荷證書指名ノモノナルトキハ裏書ヲ以テ其證書ヲ讓渡サレタルモノヲ正當ナル荷物受取人ナリトス

第四百十八條 運送人ハ荷物ヲ引渡シタルコトヲ登記スヘキ積荷證書ノ返付ヲ受ルニアラサレハ荷物ノ引

渡ヲナスノ義務ナキモノトス

第四百十九條 其他運送人ノ權利及義務ニ付テノ規定ハ積荷證書ヲ交付シタル場合ニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第四百二十條 運送取引ノ執行ヲ通常ノ商ヒ營業トナサ、ル商人各個ノ場合ニ於テ陸地又ハ河川及内海ニテ荷物ノ運送ヲナスコトヲ受負フトキ本章ノ規定ハ此取引ニ付テモ亦之ヲ適用スルモノトス

第四百二十一條 此節ノ規定ハ鉄道及其他公然ノ運送上ノ運送取引ニモ亦之ヲ適用スルモノトス  
但此節ノ規定ハ郵便所ニ付テハ特別ノ法律又ハ規則ニ依リ之カ爲メ別段ノ定メナキトキニ限り之ヲ適用



スルモノトス

鉄道ニ付テハ其他後節ノ規定ヲ適用スルモノトス

第二節 特ニ鉄道ノ運送取引

第四百二十二條 公衆ニ對シ荷物ノ運送ニ付キ使用セ

シムル爲メ設ケタル鉄道ハ其線路ニ於テ運送取引ヲ  
ナスコトヲ求メラレタルトキ左ノ場合ニ於テ之ヲ拒  
ムコトヲ得サルモノトス

第一 荷物其性質又ハ其外包ニ依リ鉄道規則ニ從

ヒ運送ニ適當スルトキ及其規則又ハ全ク標準ナ  
キ場合ニ於テ鉄道ノ設置及使用方ニ從ヒ運送ニ  
適スルトキ

第二 荷物差立人運賃荷物ノ引渡及其他鉄道ニ任

カセタル運送規約ニ關シ一般ニ現行スル鐵道管  
理ノ命令ニ從フトキ

第三 鉄道ノ通常運送具運送執行ノ爲メ充分ナル

トキ

鉄道ハ荷物ノ運送ヲナスコトヲ得ル時ヨリ以前ニ運  
送ノ爲メ荷物ヲ受取ルノ義務ナキモノトス

運送ノ時ニ付テハ荷物差立人ハ鉄道ノ設置又ハ運送  
上ノ關係又ハ公供ノ利害ニ關スル理由ナクシテ他人  
ニ先立テ待遇ヲ受ルコトヲ許サ、ルモノトス  
本條ノ規定ノ背反ハ之ニ依テ生シタル損害賠償ノ請  
求ヲ生スルモノトス

第四百二十三條 第四百二十二條ニ記載シタル鐵道ハ



義務ノ起生範圍又ハ時間又ハ證據義務ニ關スルト否  
トヲ問ハス自己ノ利益ノ爲メニ鐵道規則又ハ特別ノ  
契約ヲ以テ第三百九十五條第三百九十六條第三百九  
十七條第四百條第四百一條及第四百八條ニ掲ケタル  
運送人ノ損害賠償ノ義務ニ付テノ規定ノ適用ヲ豫メ  
排除シ又ハ制限スルノ權ヲキモノトス但以下數條ニ  
於テ之ヲ許シタルトキハ此限ニアラス  
此規定ニ違フ契約ノ定メハ法律上効力ヲ有セサルモ  
ノトス

第四百二十四條 左ノ契約ハ之ヲ取結フコトヲ得

第一 荷物差立人トノ契約ニ從ヒ上覆ヒチキ車ヲ  
以テ運送スル荷物ニ付テハ

此運送ト離レサル危險ヨリ生シタル損害ニ付  
キ責任ヲ負擔セサルコトノ契約

第二 性質ニ依リ運送中ノ喪失又ハ損傷ヲ防カシ  
爲メニ外包ヲ要スルモ運送狀ニ於ケル荷物差立  
人ノ陳述ニ從ヒ外包ナク又ハ不完全ナル外包ヲ  
以テ引渡サレタル荷物ニ付テハ

外包ノ不完全又ハ不完全ナル性質ト離レサル  
危險ヨリ生シタル損害ニ付キ責任ヲ負擔セサ  
ルコトノ契約

第三 荷物差立人トノ契約ニ從ヒ荷積及荷卸ヲ差  
立人ノ擔當スル荷物ニ付テハ

荷積荷卸又ハ不完全ナル積方ト離レサル危險



ヨリ生シタル損害ニ付キ責任ヲ負擔セサルコトノ契約

第四 一種特別ノ性質ニ依リ全部又ハ一部ノ喪失又ハ損傷即チ破碎、錆腐、内部ノ損敗非常ノ漏失等ヲ受クヘキ特別ノ危険ヲ被リ易キ荷物ニ付テハ此危険ヨリ生シタル損害ニ付キ責任ヲ負擔セサルコトノ契約

第五 活動スル動物ニ付テハ

其動物ノ運送ト離レサル危険ヨリ生シタル損害ニ付テハ責任ヲ負擔セサルコトノ契約

第六 附添人アル荷物ニ付テハ

附添人ヲ以テ防止セントスル危険ヨリ生シタル

ル損害ニ付テハ責任ヲ負擔セサルコトノ契約  
本條ニ於テ許サレタル規定ノ一ヲ契約シタルトキハ反對ノ證明アルマテ其生シタル損害ヲ擔當セサル危険ニ依テ生スルコトアルヘキ場合ニ於テ其危険ニ依テ眞ニ生シタリト推測スヘキコトヲ同時ニ契約シタルモノト看做ス

本條ニ從ヒ契約シタル責任ノ免除ハ鉄道管理又ハ其使用人ノ過失ニ依テ損害ヲ生シタルコトヲ證明スルトキハ之ヲ申立ルコトヲ得サルモノトス  
第四百二十五條 旅ヒ荷物ニ付テハ左ノ契約ヲナスコトヲ得ルモノトス

第一 運送ノ爲メ委託セラレサル旅ヒ荷物ノ喪失



又ハ損傷ニ付テハ鉄道管理又ハ其使用人ノ過失ヲ證明セラル、トキニアラサレハ責任ヲ負擔セサルコトノ契約旅客馬車ニアル物件ニ付テモ亦同一ノ契約ヲナスコトヲ得

第二 運送ノ爲メ委託セラレタル旅ヒ荷物ノ喪失ニ付テハ其引渡期日後一定ノ期限内ニ荷物ヲ受取ルトキニアラサレハ責任ヲ負擔セサルコトノ契約

此期限ハ三日ヨリ短キコトヲ許サス

第四百二十六條 自然ノ性質ニ依リ運送ノ際通常重量又ハ度量ノ喪失ヲ受ル荷物ニ付テハ豫メ定メタル重量又ハ度量ノ喪失額ニ至ルマテハ責任ヲ負擔セサル

コトヲ契約スルヲ得其定額ハ數箇ヲ合シテ運送シタル場合ニ於テ各箇ノ重量又ハ度量ヲ運送狀ニ記載シ又ハ其他證明スルコトヲ得ルトキ特ニ其各個ニ付キ計算スヘキモノトス

本條ノ規定ハ場合ノ狀況ニ從ヒ荷物ノ自然ノ性質ニ依リ喪失ヲ生セサリシコト又ハ此定額荷物ノ性質又ハ其他場合ノ狀況ニ適セサルコトヲ證明スルトキハ之ヲ適用スルコトヲ得サルモノトス

第四百二十七條 左ノ件々ハ之ヲ契約スルコトヲ得

第一 第三百九十六條ニ從ヒ損害計算ノ標準トナルヘキ價額ハ運送狀又ハ積荷證書又ハ旅ヒ荷物證書ニ荷物ノ價額トシテ記載シタル額ヲ超過ス



ヘカラサルコト及其額ノ記載ナキ場合ニ於テ豫  
 メ定メタル額面ヲ超過スヘカラサルコトノ契約  
 第二 第三百九十七條ニ從ヒ引渡淹滞ノ爲メナス  
 ヘキ損害賠償ノ額ハ運送狀又ハ積荷證書又ハ旅  
 荷物證書ニ定期内ノ引渡ニ付テノ利益ノ額トシ  
 テ記載シタル額ヲ超過スヘカラサルコト及其額  
 ノ記載ナキ場合ニ於テハ運賃ノ全部又ハ一部ヲ  
 以テモ亦成ルコトアル豫定額ヲ超過スヘカラサ  
 ルコトノ契約  
 鉄道管理又ハ其使用人ノ惡意ノ措置ニ出ル場合ニ於  
 テハ責任ヲ荷物ノ定額又ハ記載ノ價額ニ制限スルコ  
 トヲ申立ルヲ得ス

第四百二十八條 荷物ヲ受取り及運賃ヲ支拂ヒタル後  
 荷物ノ喪失又ハ其損傷ニ付テノ各請求ハ之ヲ引渡ノ  
 際知了シ得ヘカラスシテ後々ニ至リ始テ發見シタル  
 トキ(第四百八條第二項)ト雖引渡後一定ノ期限内ニ鉄  
 道管理ニ其請求ヲ届出テサリシトキ消滅スルコトヲ  
 契約スルヲ得

此期限ハ四周ヨリ短キコトヲ許サス

第四百二十九條 鉄道連接シタル數個ノ鉄道ヲ以テ運  
 送ヲナスヘキ運送狀ヲ以テ荷物ヲ受負フトキハ其運  
 送狀ヲ以テ荷物ヲ受負ヒタル總テノ鉄道ハ第四百一  
 條ニ從ヒ運送人トナリテ全運送ニ付キ責任ヲ負擔ス  
 ルコトナクシテ最初ノ鐵道及運送狀ヲ以テ最終ニ受



負ヒタル鐵道ニ限り全運送ニ付キ此責任ヲ負擔スル  
モ其他ノ中間ニアル鐵道ハ其鐵道ニ於テ損害ノ生シ  
タルコトヲ證明セラル、トキニアラサレハ運送人ト  
シテ請求セラル、コトナキコトヲ契約スルヲ得但鐵  
道相互間ノ償還要求ハ各別ナリトス

第四百三十條 鐵道其鐵道又ハ連接スル鐵道ヨリ離レ  
タル地ヲ引渡ノ地トシテ記載シタル運送狀ヲ以テ運  
送ノ爲メ荷物ヲ引受ルトキ其鐵道又ハ連接シタル鐵  
道ハ運送人トナリテ引渡地ニ至ルマテノ全運送ニ付  
キ責任ヲ負擔スルコトナクシテ鐵道ヲ以テ運送ヲ終  
ルヘキ地ニ至ルマテノ運送ニ付テノミ責任ヲ負擔ス  
ルコトヲ契約スルヲ得此契約ヲナシタルトキハ其他

ノ運送ニ關シテハ單ニ運送受負人ノ義務ヲ生スルモ  
ノトス

第四百三十一條 荷物差立人荷物ヲ鐵道ニ接近シタル  
場所ニ於テ引渡シ又ハ其場所ニ卸置クヘキコトヲ運  
送狀ニ定メタルトキハ運送狀ニ其他ノ到達地ヲ記載  
シタルモ運送ハ鐵道ニ接近シタル地マテニ限り之ヲ  
引受ケタルモノト看做シ及其鐵道ハ此場所ニ於テ引  
渡スマテニ限り責任ヲ負擔スルモノトス



第五編 海商

第一章 總則

第四百三十二條 航海シテ利益ヲ得ル爲メニ備ヘタル船舶ニシテ國旗ヲ掲ル權利ヲ有スルモノハ船舶登記簿ニ記載スヘキモノトス

船舶登記簿ハ公衆ノ展覽ニ供スルモノトス其展覽ハ通常ノ執務時間中何人ニ對シテモ之ヲ許ス

第四百三十三條 船舶登記簿ニナス登記ハ國旗ヲ掲ルノ權利ヲ證明シタル後始メテ之ヲ許スモノトス  
船舶登記簿ニ登記スル前國旗ヲ掲ルノ權利ハ之ヲ執行スルコトヲ許サハルモノトス

第四百三十四條 各邦法律ハ船舶ノ國旗ヲ掲ル權利ノ



定マル要件ヲ定ルモノトス  
各邦法律ハ船舶登記簿ノ登記ヲ備ヘ置クヘキ官署ヲ  
定ルモノトス

各邦法律ハ外國ヨリ買入レタル船舶ニ付キ假ニ領事  
廳ノ證書ヲ以テ船舶登記簿ニ代用スルコトヲ得ルヤ  
及其代用スルコトヲ得ルニ付テノ要件ヲ定ルモノトス

第四百三十五條 船舶登記簿ニナス登記ニハ左ノ件々  
ヲ記載スヘキモノトス

- 第一 船舶ノ國旗ヲ掲ル權利ヲ生スル事實
- 第二 船舶ノ性質及其所有權ノ關係ヲ確定スル爲  
メ必要ナル事實
- 第三 船舶ノ航海ヲ始ムヘキ港船舶籍港登記簿港

登記ニ付テハ其旨趣ト同一ノ要件ヲ有スル證書登記  
證書ヲ公製スルモノトス

第四百三十六條 前條ニ記載シタル事實ニ登記後變更  
アルトキハ之ヲ船舶登記簿ニ登記シ及登記證書ニ記  
入スヘキモノトス

船舶沈没シ又ハ國旗ヲ掲ルノ權利ヲ失フ場合ニ於テ  
其船舶ハ船舶登記簿中ニ之ヲ塗抹シ交付シタル登記  
證書ハ之ヲ還付スヘキモノトス但還付スル能ハサル  
コトヲ證書ヲ以テ證明スルトキハ此限ニアラス

第四百三十七條 各邦法律ハ登記又ハ塗抹ヲ要スル事  
實ヲ届出及證明スヘキ期限并ニ其期限ヲ怠リ又ハ前  
數條ノ規定ヲ遵守セサル場合ニ科スル罰ヲ定ルモノ



トス

第四百三十八條 各邦法律ハ第四百三十二條ヨリ第四百三十七條マテノ規定ヲ小舟(沿岸通船)ニ適用セサルコトヲ定ルコトヲ得

第四百三十九條 船舶又ハ船舶ニ付テノ持部ヲ賣讓スルニ方リ所有權ヲ得有スル爲メ民法ノ原則ニ從ヒ必要ナル引渡ハ契約者雙方ノ間ニ於テ其所有權ノ直ニ得有者ニ移轉スヘキコトニ付キナシタル契約ヲ以テ之ヲ代用スルヲ得

第四百四十條 船舶又ハ船舶持部ヲ賣讓スル總テノ場合ニ於テ契約者各方ハ自己ノ費用ヲ以テ其賣讓ニ付キ公證ヲ得タル證書ヲ交付セラルヘキコトヲ求ルヲ

得

第四百四十一條 船舶又ハ船舶持部ヲ其航海中ニ賣讓スルトキ賣讓者及得有者間ノ關係ニ於テ別段ノ契約ナキトキハ其航海ノ利益ハ得有者ニ歸シ又其損失ハ得有者ノ負擔ナリト看做スヘキモノトス

第四百四十二條 船舶又ハ船舶持部ノ賣讓ニ依リ賣讓者ノ他人ニ對スル身上ノ義務ニハ一モ變更ヲ生セサルモノトス

第四百四十三條 船舶ノ附屬品ニハ航海中船舶ノ常用ニ供シタル總テノ物件ヲ包含スルモノトス  
特ニ端舟モ亦之ニ属スルモノトス  
疑シキ場合ニ於テハ船舶目錄ニ登記シタル物件ハ之



ヲ船舶ノ附屬品ト看做スモノトス

第四百四十四條 此編ニ謂ヘル航海不能トナリタル船舶ハ之ヲ左ノ如ク看做スモノトス

第一 船舶修復ヲ到底ナス能ハサルトキ又ハ船舶ノ所在スル地ニ於テ修復ヲナスヘカラスシテ修復ヲナスヘキ港ニ其船舶ヲ送ルコト能ハサルトキ修復不能ト看做ス

第二 修復ノ費用新古ノ區別ナク原價額四分ノ三ヲ超ルトキハ修復無益ト看做ス

航海中航海不能トナリタルトキ原價額ト看做スヘキハ船舶始航ノ際有シタル價額ナリトス其他ノ場合ニ於テハ航海不能トナリタル前船舶ノ有シタル價額又

ハ相當ノ機裝ヲナシタル際船舶ノ有シタル價額ナリトス

第四百四十五條 乗組員ニ屬スル者ハ船長船員并ニ總テ其他船舶ニ任用セラレタル人ナリトス

第四百四十六條 出發ノ準備整ヒタル(帆支度シタル)船舶ハ負債ノ爲メ差押ヲ受ルコトナキモノトス但此規定ハ其航海ノ爲メ負債ヲナシタルトキハ之ヲ適用セサルモノトス

既ニ船中ニアル荷物ヲ負債ノ爲メ差押ルモ其荷卸ハ荷物引渡人其荷卸ヲ尙ホ要求スルノ權ヲ有スル場合ニシテ其際盡スヘキノ義務ヲ盡シタルトキニ限り之ヲナスコトヲ得



總テ乘組員ニ屬スル人ハ船舶帆支度ヲナシタル時ヨリ負債ノ爲メ拘留セラレ、コトナキモノトス

第四百四十七條 此編ニ於テ歐州内ノ港ヲ歐州外ノ港ニ對シテ記載スル場合ニ於テ歐州内ノ港ニハ地中海、黑海及、アツオウ海ニ接スル歐州外ノ港ヲモ共ニ包含スルモノトス

第四百四十八條 船籍港内船舶ノ碇泊ニ關スル此編ノ規定ハ各邦法律ヲ以テ其船籍港ノ管内ニ屬スル總テノ港又ハ二三ノ港ニモ亦之ヲ及ホスコトヲ得

第四百四十九條 此編ノ規定ハ郵便所ニモ亦之ヲ適用スルモノトス但特別ノ法律又ハ規則ヲ以テ之カ爲メ他ノ規定ヲ設ケタルトキハ此限ニアラス

第二章 船主并ニ船主組合

第四百五十條 船主ハ航海シテ利益ヲ得ル爲メ自己ニ使用スル船舶ノ所有者ナリトス

第四百五十一條 船主ハ乘組員自己ノ過失ニ依リ其職務執行中他人ニ加ル損害ニ付キ其責任ヲ負擔スルモノトス

第四百五十二條 船主ハ左ノ場合ニ於テ他人ノ請求權ニ付キ無限責任ヲ負擔スルコトナク船舶及運賃ヲ以テノミ其責任ヲ負擔スルモノトス

第一 船長其資格ヲ以テ法律上權限内ニ於テ特別ノ委任ニ關セス取結ヒタル契約ヨリ請求ノ生スルトキ



第二 船主ノ取結ヒタル契約ノ不履行又ハ其履行ノ不充分又ハ瑕疵ヨリ請求ノ生スルトキ但其不履行又ハ其履行ノ不充分又ハ瑕疵乗組員ノ過失ニ出ルト否トナ分タス其契約ノ執行船長ノ職務上義務ニ属スルトキニ限ル

第三 乗組員ノ過失ヨリ請求ノ生スルトキ

但第一第二ニ記載シタル場合ニ於テ本條ハ船主自己ニ契約履行ニ關シ過失アルトキ又ハ船主契約履行ヲ特ニ保證シタルトキ之ヲ適用セサルモノトス

第四百五十三條 (本條ハ千八百七十二年十二月二十七日ノ船員規則第六十八條ヲ以テ之ヲ廢止シタリ)

第四百五十四條 船主無限責任ヲ負擔セス船舶及運賃

ヲ以テノミ責任ヲ負擔スル他ノ場合ハ後章ニ於テ之ヲ定ルモノトス

第四百五十五條 船主ハ其資格ヲ以テ各個ノ請求ニ付キ無限責任ヲ負擔スルト又ハ船舶及運賃ヲ以テノミ責任ヲ負擔スルトナ分タス船籍港第四百三十五條ノ裁判所ニ出訴セラル、コトヲ得

第四百五十六條 船主組合ハ數人ニ於テ其共有ニ属スル船舶ヲ航海シテ利益ヲ得ル爲メ共同ノ計算ヲ以テ使用スルトキ成立スルモノトス

船舶商社ニ属スル場合ハ船主組合ニ付テ定メタル規定ニ依リ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第四百五十七條 共同船主相互ノ權利上關係ハ主トシ



テ其間ニ於テ取結ヒタル契約ニ從テ定マルモノトス  
其契約ナキトキニ限り以下數條ノ規定ヲ適用ス

第四百五十八條 共同船主ノ決議ハ船主組合ノ事件ニ  
付テノ標準トナルモノトス其決議ハ多數ニ依テ決ス  
其議權ハ船舶持部ノ多寡ニ從テ算ヘ決議ニ付テノ多  
數ハ決議ニ付キ發言シタル一人又ハ數人ニ屬スル部  
分合算シテ船舶全部ノ二分一以上ナルトキ存スルモ  
ノトス

船主組合契約ノ變更ヲ目的トシ又ハ船主組合契約ノ  
定メニ反シ又ハ船主組合ノ目的ニ異ル決議ヲナスニ  
ハ共同船主組合總員ノ一致ヲ要スルモノトス

第四百五十九條 通信船主ハ船舶頭取船舶理事船主組

合行務ニ付キ多數ノ決議ヲ以テ之ヲ任スルコトヲ得  
共同船主ニ屬セサル通信船主ヲ任スルニハ總員一致  
ノ決議ヲ要スルモノトス

通信船主ノ任用ハ現任ノ契約ヨリ生スル損害要償ノ  
權ヲ害スルコトナクシテ何時タリトモ多數決ヲ以テ  
之ヲ解クコトヲ得

第四百六十條 通信船主ハ他人トノ關係ニ於テ其任用  
ニ依リ船主組合ノ事務執行ト通常離レサル總テノ事  
務及權利上行爲ヲナスノ權アルモノトス  
此權ハ特ニ船舶ノ艤裝保存及賃貸付ニ及ヒ運賃艤裝  
費及海難損失金ノ保險并ニ通常行務ニ屬スル金錢ノ  
領収ニ及フモノトス



通信船主ハ前二項ノ權限内ニ於テ裁判所ニ出テ船主組合ヲ代理スルノ權アルモノトス  
 通信船主ハ船長ヲ雇入レ及解雇スルノ權アルモノトス  
 船長ハ其差圖ニ限り遵守スルノ義務ヲ有シ各個共同船主ノ差圖アルモ之ニ從フノ義務ナキモノトス  
 通信船主ハ船主組合又ハ各個ノ共同船主ノ名義ヲ以テ爲替義務ヲ負擔シ又ハ借入ヲナシ又ハ船舶又ハ船舶持部ヲ賣却シ又ハ質入シ又ハ之ニ付テ保險ヲナシシムルノ權ナキモノトス但之カ爲メ特ニ委任ヲ與ヘタルトキハ此限ニアラス  
 其他通信船主ハ其任用ニ依リ執行スルノ權アル事務及權利上行爲ニ付テハ各邦法律ニ特別委任ヲ要スル

ノ規定アルモ之ヲ要セサルモノトス

第四百六十一條 通信船主其資格ヲ以テ其權限内ニ於テ取結ヒタル契約ニ依リ船主組合ハ各個共同船主ヲ指名セスシテ其契約ヲ取結ヒタルトキト雖他人ニ對シ其權利義務ヲ有スルモノトス  
 船主組合通信船主ノ取結ヒタル契約ニ依リ義務ヲ負擔シタルトキ共同船主ハ自己ニ其契約ヲ取結ヒタルトキニ於ルト同一ノ範圍内(第四百五十二條)ニ於テ責任ヲ負擔スルモノトス  
 第四百六十二條 船主組合ハ第四百六十條ニ掲ケタル通信船主ノ權限ノ制限ヲ契約ヲ取結フノ際他人ニ於テ知了シタリシコトヲ證明スルトキニ限り他人ニ對



シ有効ナラシムルコトヲ得

第四百六十三條 船主組合ニ對シ通信船主ハ其權限ニ付キ組合ノ定メタル制限ヲ遵守スルノ義務アルモノトス其他其ナシタル決議ニ從ヒ及其決議ヲ執行スヘキモノトス

其他通信船主ノ權限ハ船主組合ニ對シテモ亦第四百六十條ノ規定ニ從ヒ之ヲ判定スヘキモノトス但新ナル航海及起業并ニ非常ノ修復船長雇入又ハ解雇ニ付キ豫メ船主組合ノ決議ヲ取ルヘシ

第四百六十四條 通信船主ハ船主組合ノ事件ニ關シテハ通常船主ノナス注意ヲナスノ義務アルモノトス  
第四百六十五條 通信船主ハ船主組合ニ關スル自己ノ

行務ニ付キ別段ニ帳簿ヲ備ヘ置キ及之ニ屬スル證書ヲ保存スヘキモノトス各共同船主ニ對シテモ其求メニ依リ船主組合ニ關シ特ニ船舶航海及艙裝ニ關スル總テノ關係ヲ知ラシメ何時タリトモ船主組合ニ關スル帳簿信書及書類ヲ展覽セシムヘシ

第四百六十六條 通信船主ハ何時タリトモ船主組合ノ決議ニ依リ其計算書ヲ示スノ義務アルモノトス但多數ヲ以テスル通信船主ノ計算書ノ承諾及管理ノ認可ハ少數ニ對シ其權利ヲ申立ルコトヲ妨ケサルモノトス

第四百六十七條 各共同船主ハ其船舶持部ノ割合ニ應シ船主組合ノ費用特ニ船舶ノ艙裝及修復ノ費用ヲ出



スヘキモノトス  
 共同船主自己ノ出金ヲ拂入ル、コトヲ怠リ他ノ共同船主之カ爲メ其出金ヲ立替ヘタルトキハ他ノ共同船主ニ對シ法律上其立替ノ時ヨリ利子ヲ拂フノ義務アルモノトス此立替ニ依リ怠納シタル共同船主ノ船舶持部ニ付キ質主權ヲ得ルヤ否ハ各邦法律ニ從テ之ヲ判定スヘシ質主權ヲ得サルトキト雖其立替ニ依リ船舶持部ニ付キ其共同船主ニ對シ保險セラルヘキ利益ヲ生スルモノトス此利益ヲ保險シタル場合ニ於テ怠納シタル共同船主ハ其費用ヲ辨償スヘシ

第四百六十八條 新ナル航海ヲ議決シ又ハ一航海ヲ終ハリタル後船舶ノ修復ヲ議決シ又ハ船主組合ニ於テ

船舶及運賃ヲ以テノミ責任ヲ負擔スル債主ニ辨償スルコトヲ議決シタルトキ其決議ヲ承諾セサル各共同船主ハ其船舶持部ヲ代價ヲ請求スルコトヲクシテ拋棄シ其決議執行ノ爲メ必要ナル拂入ヲナスコトヲ免カル、ヲ得

此權利ヲ使用セントスル共同船主ハ決議ノ日後三日内ニ又ハ其決議ヲナスノ際在席セス及代理セラレザリシトキハ其決議ノ通知後三日内ニ裁判所又ハ公證人ノ證書ヲ以テ他ノ共同船主又ハ通信船主ニ之ヲ通知スヘキモノトス

其拋棄シタル船舶持部ハ其他ノ共同船主ニ其船舶持部ノ多寡ニ應シテ歸スルモノトス



第四百六十九條 利益及損失ノ配當ハ船舶持部ノ多寡ニ應シテ之ヲナスモノトス  
 利益及損失ノ計算及利益アルトキ其拂出ハ船舶船籍港ニ歸着シタル後又ハ船舶他ノ港ニ於テ其航海ヲ終ハリ船員ヲ解雇シタル後其都度之ヲナスモノトス  
 其他前項ニ記載シタル時限前ト雖收入スル金錢ハ各共同船主ニ其船舶持部ノ多寡ニ應シテ假リニ分配シ及拂出スヘキモノトス但其金錢ハ後日ノ支出又ハ各個共同船主ノ請求ニ充ル爲メ船主組合ニ要セサルモノニ限ル

第四百七十條 各共同船主ハ其船舶持部ノ全部又ハ一部ヲ何時タリトモ他ノ共同船主ノ承諾ナクシテ賣讓

スルコトヲ得

法律上先買權ハ共同船主ニ屬セサルモノトス但船舶持部ノ賣讓ニ依リ船舶國旗ヲ掲ルノ權利ヲ失フヘキトキハ船主組合總員ノ承諾ヲ以テスルニアラサレハ法律上有効ニ其賣讓ヲナスコトヲ許サス此賣讓ヲ一般ニ許サルノ明文ヲ掲ル各邦法律ハ此規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第四百七十一條 共同船主ニシテ其船舶持部ヲ賣讓シタル者ハ其賣讓ヲ自己及得有者ヨリ共同船主又ハ通信船主ニ届出テサル間ハ共同船主トノ關係ニ於テハ尙ホ之ヲ共同船主ト看做シ及此届出前ニ生シタル總テノ義務ニ付キ共同船主トナリテ他ノ共同船主ニ對



シ責任ヲ負擔スルモノトス  
 但船舶持部ノ得有者ハ其他ノ共同船主トノ關係ニ於  
 テハ已ニ其得有ノ時ヨリ共同船主トナリテ義務ヲ負  
 擔スルモノトス  
 得有者ハ船主組合契約ノ定メ其ナシタル決議及取結  
 ヒタル取引ヲ賣讓者ニ均ク自己ニ對シ有効ナラシム  
 ヘキモノトス其他ノ共同船主ハ其他賣讓者ニ對シ共  
 同船主トシテ其船舶持部ニ關シ生シタル總テノ義務  
 ヲ得有者ニ對シ差引計算ヲナスコトヲ得但買受人ノ  
 之カ爲メ得有者ノ賣讓者ニ對シ保證ヲナサシムルノ  
 權利ヲ害スルコトナシ  
 第四百七十二條 共同船主ノ變更ハ船主組合ノ存續ニ

關係ナキモノトス

共同船主死去シ又ハ倒産シ又ハ法律上財産ヲ管理ス  
 ルノ能力ヲ失ヒタルモ之カ爲メ船主組合ヲ解散スル  
 ノ結果ヲ生セサルモノトス

共同船主ノ退去又ハ除名ハ之ヲ許サ、ルモノトス

第四百七十三條 船主組合ノ解散ハ多數ヲ以テ之ヲ決

スルコトヲ得船舶ヲ賣讓スルノ決議ハ解散ノ決議ト  
 同一ナリトス

船主組合ノ解散又ハ船舶賣讓ノ決議ヲナシタルトキ  
 ハ其船舶ハ公賣ニ付スヘキモノトス其公賣ハ船舶航  
 海ノ爲メニ賃貸セラレスシテ船籍港又ハ内國港ニ碇  
 泊スルトキニ限り之ヲナスコトヲ得但船舶修復不能



又ハ修復無益第四百四十四條ナリトシテ言渡カレタルトキ其公賣ハ賃貸セラレタルトキト雖尙ホ外國ニ於テ之ヲナスコトヲ得此規定ニ違フヘキハ共同船主總員ノ承諾ヲ要スルモノトス

第四百七十四條 共同船主其資格ヲ以テ無限責任ヲ負擔スル場合ニ於テハ其船舶持部ノ多寡ニ應シテノミ他人ニ對シ責任ヲ負擔スルモノトス

船舶持部ヲ賣讓スル場合ニ於テ其賣讓ト第四百七十一條ニ掲ケタル届出トノ間ニ於テ其船舶持部ニ付キ生シタル無限責任ニ付テハ賣讓者并ニ得有者其責任ヲ負擔スルモノトス

第四百七十五條 共同船主ハ其資格ヲ以テ各個ノ請求

ニ付キ共同船主ヨリ申立ルト又ハ他人ヨリ申立ルトヲ分タス船籍港第四百三十五條ノ裁判所ニ出訴セラル、コトヲ得此規定ハ其訴訟ヲ共同船主ノ一名又ハ數名ニ對シテナシタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第四百七十六條 船舶ヲ共同ノ計算ヲ以テ製造シ航海ニ供スル二名又數名ノ組合ニモ亦第四百五十七條第四百五十八條及第四百六十七條第四百七十二條及第四百七十四條ヲ適用シ及船舶ノ製造竣功シ製造人ヨリ之ヲ引渡シタルトキハ直ニ其他第四百七十條第四百七十一條及第四百七十三條ヲ適用スルモノトス但第四百六十七條ハ同時ニ製造費ニ適用ス



通信船主第四百五十九條ハ船舶ノ製造竣功セサル前  
ト雖既ニ之ヲ任用スルコトヲ得此場合ニ於テハ其任  
用後將來ノ船主組合ノ行務ニ關シ通信船主ノ權利及  
義務ヲ有スルモノトス

第四百七十七條 何人タリトモ自己ニ属セサル船舶ヲ  
航海シテ利益ヲ得ル爲メ自己ノ計算ヲ以テ使用シ及  
自己ニ運用シ又ハ其運用ヲ船長ニ委託スル者ハ他人  
トノ關係ニ於テ之ヲ船主ト看做スモノトス

船舶所有者ハ船舶ノ使用ヨリ船舶債主タルノ請求權  
ヲ有スル者ニ對シ其請求權ノ執行ヲ妨ルコトヲ得ス  
但所有者ニ於テ其使用自己ニ對シ法律ニ背キ及債主  
良心ニ出テサリシコトヲ證明スルトキハ此限ニアラ

ス

第三章 船長

第四百七十八條 船舶ノ運用者(船將、船長)ハ總テノ職掌  
特ニ其執行スヘキ契約ノ履行ニ方リ通常船長ノ注意  
ヲナスノ義務アルモノトス運用者ハ自己ノ過失ヨリ  
生シタル各個ノ損害特ニ本章及後數章ニ於テ之ニ負  
擔セシメタル義務背反ヨリ生スル損害ニ付キ其責任  
ヲ負擔ス

第四百七十九條 船長ノ此責任ハ船主ニ對シテノミナ  
ラス尙ホ又船舶賃貸人、荷物引渡人及荷物受取人、船客  
船舶乗組員及信用取引(第四百九十七條)ヨリ生シタル  
要求ヲ有スル船舶債主特ニ船舶書入債主ニ對シ生ス



ルモノトス

船長ハ船主ノ差圖ニ從テ處置シタルニ依リ船主其他前項ニ記載シタル人ニ對シ責任ヲ免ル、コトナキモノトス

船主モ亦其差圖ヲナスノ際事情ヲ知了シタリシトキハ其差圖ニ依リ無限責任ヲ負擔スルモノトス

第四百八十條 船長ハ始航前其船舶航海ニ堪ルヤ相當ニ整頓シ及艤裝シタルヤ相當ニ乗組員ヲ備へ及食料ヲ準備シタルヤ并ニ船舶乗組員及積荷ニ付キ證明スル爲メ必要ナル書類ヲ船中ニ備へタルヤニ注意スヘキモノトス

第四百八十一條 船長ハ荷積及荷卸ノ爲メ備へタル器

具ノ堅牢ナルヤ并ニ特別ノ荷積人ヲ以テ積込ヲナストキト雖海員ノ慣例ニ從ヒ相當ニ積込ヲナシタルヤニ注意スヘキモノトス

船舶過量ノ積込ヲナサ、ルヤ及船舶必要ナル底積及必要ナル測積ヲ備ルヤニ注意スヘキモノトス

第四百八十二條 船長外國ニ於テ其現行法特ニ警察法稅法及關稅法ヲ遵奉セサルトキハ之ニ依テ生シタル損害ヲ賠償スヘキモノトス

并ニ船長ハ戰時禁制品タルコトヲ知リ又ハ知ラサルヘカリシ荷物ヲ積込ムニ依リ生スル損害ヲ賠償スヘキモノトス

第四百八十三條 船長ハ船舶出發ノ準備整ヒタルトキ



ハ直ニ好機ヲ失ハス航海ヲ始ムヘキモノトス  
 船長ハ疾病其他ノ事由ニ依リ船舶ヲ運用スルコトヲ  
 妨ケラレタルトキト雖出發又ハ進航ヲ不當ニ淹滯ス  
 ルコトヲ許サス又時及狀況ノ許ス限リハ船主ノ差圖  
 ヲ請ヒ之ニ遅延ナク其故障ヲ通知シ及其間適切ナル  
 處分ヲナスヘキモノトス之ニ違フトキハ他ノ船長ヲ  
 代理ニ立ツヘキモノトス船長ハ其代理人ニ付キ其撰  
 定ノ際自己ノ過失ニ歸スルモノニ限り責任ヲ負擔ス  
 ルモノトス

第四百八十四條 船長ハ荷積ノ始メヨリ荷卸ノ終ハリ  
 ニ至ルマテハ切迫ノ場合ニアラサレハ舵取ト同時ニ  
 船舶ヲ離ル、コトヲ許サス船長ハ之ヲ離ル、場合ニ

於テハ先ツ仕官又ハ其他ノ船員ノ中ヨリ相當ナル代  
 理ヲ定ムヘキモノトス

荷積ヲ始ルノ前及荷卸ヲ終ハリタル後ト雖船舶安全  
 ナラサル港内又ハ安全ナラサル碇泊所ニ碇泊スルト  
 キハ亦前項同一ナリトス

危難ニ罹ラントスルノ際又ハ船舶航海中ナルトキ船  
 長ハ船中ニ在居スヘキモノトス但已ムヲ得サルカ爲  
 メ不在セサルヲ得サル正當ノ事由アルトキハ此限ニ  
 アラス

第四百八十五條 船長ハ危難ノ場合ニ於テ士官ト船舶  
 會議ヲナスヲ至當ト認ルトキト雖其ナシタル決議ニ  
 拘束セラレサルモノトス船長ハ毎ニ自己ノナシタル



處分ニ付キ責任ヲ負擔ス

第四百八十六條 各船舶ニハ日記ヲ備ヘ置クヘキモノトス其日記ニハ各航海ニ付キ積荷又ハ底積ノ領收ヲ始メシ以來總テノ重要ナル事故ヲ記入スヘキモノトス

其日記ハ船長ノ監督ヲ受ケテ舵取之ヲ記載シ舵取差支アル場合ニ於テハ船長又ハ船長ノ定ムヘキ相當ノ船員船長ノ監督ヲ受ケテ之ヲ記載スルモノトス

第四百八十七條 日記ニハ日々左ノ件々ヲ記載スヘキモノトス

風及天氣ノ摸樣

船舶ノ通過シタル針路及行程

測量シタル經緯度

唧筒ノ水量

其他日記ニハ左ノ件々ヲ記載スヘキモノトス

測鉛ヲ以テ測量シタル海水ノ深淺

水先案内ノ各雇入及其來船及退船ノ時

乘組員ノ變更

船舶會議ニ於テナシタル決議

船舶又ハ積荷ノ遭遇シタル總テノ災難及其明細

船舶ニ於テナシタル罰セラルヘキ行爲及處決シタル

懲罰并ニ出產死亡モ亦之ヲ日記ニ記入スヘキモノト

ス

其記入ハ差支ノ狀況ナキ限りハ日々之ヲナスヘキモ



ノトス

其日記ニハ船長及舵取之ニ署名スヘキモノトス

第四百八十八條 (本條ハ千八百七十七年一月三十日ノ

訴訟法施行規則第十三條第二ヲ以テ之ヲ廢止シタリ)

第四百八十九條 各邦法律ハ小舟(沿岸通船等)ニ日記ヲ

備ルヲ要セサルコトヲ規定スルヲ得

第四百九十條 船長ハ航海中ニ生スル總テノ災難ニ付

テハ其船舶又ハ積荷ノ喪失又ハ損傷避難港ニ入港又

ハ其他ノ損害ヲ生スルト否トヲ問ハス乗組員ノ總員

又ハ充分ナル員數ノ立會ヲ以テ具狀ヲナスヘキモノ

トス

其具狀ハ遲延ナク左ノ場所ニ於テ之ヲナスヘキモノ

トス

到着港又ハ數個ノ到着港アル場合ニ於テハ遭難後

船舶最初ニ到着シタル港

避難港但其港ニ於テ修復シ又ハ荷卸スルトキニ限

ル

到着港ニ到着スルコトヲクシテ航海ヲ終ルトキハ

最初ニ到着シタル相當ノ地

船長死去シ又ハ具狀ヲナスコト能ハサルトキハ其次

席ノ士官之ヲナスノ權利及義務ヲ有スルモノトス

第四百九十一條 具狀ハ航海ノ重要ナル事故ニ付テノ

報告特ニ完全ニシテ明瞭ナル遭難ノ陳述及損害ヲ防

止シ又ハ減少スル爲メニ用ヒタル方法ヲ包含スヘキ



モノトス

第四百九十二條 此法ノ範圍内ニ於テハ具狀ハ日記及乗組員總員ノ名簿ヲ呈出シテ之ヲ管轄裁判所ニ届出ツヘキモノトス

裁判所ハ届出ヲ受ケタル後成ルヘク速ニ具狀ヲ聽クヘキモノトス之カ爲メ定メタル期日ハ相當ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘキモノトス但淹滞スルヲ得ヘカラサル事情アルトキハ此限ニアラス

船舶及積荷ノ關係者并ニ其他災難ニ關係シタル者ハ自己又ハ代人ヲ以テ具狀ニ陪席スルノ權アルモノトス

具狀ハ日記ニ依テ之ヲナスモノトス備ヘタル日記ヲ

差出スコト能ハサルトキ又ハ日記ヲ記載セサル(第四百八十九條)トキハ其理由ヲ述フヘキモノトス

第四百九十三條 裁判官ハ出頭シタル者ノ外尙ホ他ノ乗組員ニシテ尋問スルヲ至當ト認ル者ヲ尋問スルノ權アルモノトス又一層明瞭ナラシムル爲メ適切ナル問ヲ付スルコトヲ得

船長及立會ヒタル其他ノ乗組員ハ其陳述ニ付キ宣誓ヲナスヘキモノトス

具狀ニ付テノ筆記ハ原本ニテ之ヲ保存シ及各關係人ニ其求メニ依リ公證シタル謄本ヲ交付スヘキモノトス

第四百九十四條 (本條モ亦第四百八十八條ト均シク訴



訟法施行規則第十三條第二ヲ以テ廢止シタリ

第四百九十五條 船舶船籍港ニ碇泊中船長ノ取結フ契約ハ船長委任ニ依リナシタルトキ又ハ其他特別ノ義務理由アルトキニ限り船主ニ對シ其効アルモノトス  
船長ハ船籍港ニ於テモ亦船員ヲ雇入ル、ノ權アルモノトス

第四百九十六條 船舶船籍港外ニ碇泊スルトキ船長ハ他人ニ對シ其雇入ニ依リ船主ニ代リテ艙裝、乘組、飲食物及船舶ノ保存并ニ一般ニ航海ト離レサル總テノ事務及權利上行爲ヲナスノ權アルモノトス  
此權ハ運送契約ノ取結ヒニモ亦及フモノトス又其權ハ其他船長ノ職掌ニ關スル出訴ニ及フモノトス

第四百九十七條 但船長ハ船舶ノ保存又ハ航海執行ノ爲メ必要ナルトキニシテ其需求ヲ充タス爲メ缺クヘカラサル部分ニ限り借入、掛買ヲナシ并ニ之ニ類スル信用取引ヲ取結フノ權アルモノトス又船長ハ航海執行ノ爲メ必要ナル部分ニ限り船舶書入ヲナスノ權アルモノトス

此契約ノ効力ハ實際ニ使用シタルト數個信用取引中撰ヒタルモノ、便宜ナルト及必要ナル金錢ヲ船長ノ處分ニ任カセタルヤノ狀況トニ關セサルモノトス但他人ニ惡意アルコトヲ證明スルトキハ此限ニフラス  
第四百九十八條 船長ハ船主ノ信用ヲ以テ契約ヲ取結ヒ特ニ船主ノ爲メ爲替義務ヲ負擔スルニハ之カ爲メ



與ヘラレタル委任(第四百五十二條第一)ニ依ルニアラ  
サレハ之ヲナスノ權ナキモノトス船長船主ヨリ受ケ  
タル處分方及職務上差圖ハ他人ニ對シ船主ノ無限責  
任ヲ生スルニ不充分ナリトス

第四百九十九條 船長ハ已ムヲ得サル場合ニシテ其地  
裁判所ニ於テ鑑定人ノ意見ヲ聞キ及本國ノ領事ノ在  
留スルトキハ其立會ヲ以テ其必要ヲ確定シタル後ニ  
アラサレハ船舶ノ賣却ヲナスノ權ナキモノトス  
裁判所及審査ヲ擔當スル官署一モナキトキ船長ハ其  
處分ヲ辯明スル爲メ鑑定人ノ意見ヲ得及之ヲ得ル能  
ハサルトキハ其他ノ證據ヲ備フヘキモノトス  
其賣却ハ之ヲ公行スヘキモノトス

第五百條 船長ノ法律上權限ヲ制限シタル船主ハ他人  
ニ於テ之ヲ知了シタルコトヲ證明スルニアラサレハ  
他人ニ對シ其制限ヲ守ラサルコトヲ有効ナラシムル  
ヲ得ス

第五百一條 船長別段ノ委任ナクシテ船主ノ爲メ前拂  
ヲナシ又ハ無限責任ヲ負擔シタルトキ船主ニ對シ其  
辨償ニ付キ他人ト同一ノ權ヲ有スルモノトス

第五百二條 船長船主ノ指名ヲ以テスルト否トヲ問ハ  
ス船舶運業者タルノ資格ヲ以テ其法律上權限内ニ於  
テ取結ヒタル契約ニ依リ船主ハ他人ニ對シ權利ヲ得  
及船舶及運賃ヲ以テスル責任ヲ負擔スルモノトス  
船長ハ履行ニ付キ保證ヲ擔當シ又ハ其權限ヲ超ヘタ



ル場合ヲ除クノ外他人ニ對シ契約ニ依テ義務ヲ負擔スルコトナキモノトス但第四百七十八條及第四百七十九條ノ規定ニ從フ船長ノ責任ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第五百三條 前數條ハ船主ニ對シテモ亦船長ノ權限ニ付キ標準トナルモノトス但船主此權ヲ制限シタルトキハ此限ニアラス

其他船長ハ船舶ノ狀況航海中ノ事故取結ヒタル契約及裁判關係トナリタル訴訟ヲ每次船主ニ報知シ及重要ナル總テノ場合特ニ第四百九十七條及第四百九十九條ノ場合ニ於テ又ハ船長航海ヲ變更シ又ハ停止セサルヲ得サルトキ又ハ非常ノ修復及買入ヲナストキ

狀況ノ許ス限リハ處分方ノ差圖ヲ求ルノ義務アルモノトス

船長ハ非常ノ修復及買入ヲ自己ノ處分ニ任セラレタル船主ノ金錢ヲ以テ支拂フコトヲ得ルトキト雖已ムヲ得サル場合ニアラサレハ之ヲナスコトヲ許サス船長ハ需求ヲ充タス爲メ必要ノ金錢ヲ船舶書入又ハ不用ナル船舶附屬品又ハ不用ナル貯蓄品ノ賣却ヲ以テスルノ外得ルコト能ハサルトキハ船主ノ爲メ損害ノ最モ少ナキ處分ヲナスヘキモノトス船長ハ船籍港ニ歸着シタル後ニシテ其他請求ヲ受ルトキ其都度計算書ヲ船主ニ差出スヘキモノトス

第五百四條 船長ハ航海中積荷關係者ノ利益ノ爲メ同



時ニ積荷安全ノ爲メ成ルヘキ丈ケ注意スヘキモノトス

船長ハ喪失ヲ防止シ又ハ減少スル爲メ特別ノ處分ヲ要スルトキ積荷關係者ノ代理者トナリテ其利益ヲ保護シ成ルヘク其差圖ヲ受ケ及事情ニ適スル限りハ之ヲ遵守シ否ラサレハ自己ノ見込ヲ以テ處分シ及一般ニ成ルヘキ丈ケ積荷關係者ニ其事故及之ニ依テナスニ至リタル處分ヲ速ニ報知スルコトニ注意スルノ義務アルモノトス

船長ハ此場合ニ於テ特ニ亦積荷ノ全部又ハ一部ヲ荷卸シ非常ノ場合ニ於テハ損敗セントスルノ恐れアルカ爲メ又ハ其他ノ事由ニ依リ生スル著シキ喪失ヲ別

ニ防止スルノ方法ヲキトキハ賣却シ又ハ其保存及運送ヲナスニ必要ナル金錢ヲ得ル爲メ書入スルノ權ヲ有シ并ニ積荷ノ留置及掠奪ノ場合ニ於テハ其取戻ノ要求ヲナシ又ハ其他ノ方法ヲ以テ積荷ニ付キ自己ノ處分ヲ妨ケラレタルトキハ裁判所外及裁判所内ノ手續ヲ以テ其取戻ヲナスノ權ヲ有スルモノトス

第五百五條 最初ノ方向ニ於ケル航海ノ繼續ヲ事變ニ依リ妨ケラル、場合ニ於テ船長ハ事情ニ應シ差圖ヲ斟酌シテ航海ヲ他ノ方向ニ於テ繼續シ又ハ暫ラク又ハ久シク航海ヲ停止シ又ハ出發港ニ歸着スルノ權アルモノトス

船長ハ運送契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ第六百三



十四條ノ規定ニ從テ處分スヘキモノトス

第五百六條 船長ハ積荷關係者ノ信用ヲ以テ契約ヲ取  
結フニハ第五百四條ノ場合ニ於テモ亦之ヲ爲メ與ヘ  
ラレタル委任ニ依ルニアラサレハ之ヲナスノ權ヲキ  
モノトス

第五百七條 船長ハ第五百四條ノ場合ヲ除クノ外航海  
ヲ繼續スルニ必要ナルトキ及必要ナル部分ニ限り積  
荷ヲ書入シ又ハ賣却シ又ハ支用シテ積荷ノ一部ヲ處  
分スルノ權アルモノトス

第五百八條 海難大損失ニ關シ需求ノ生スル場合ニシ  
テ船長種々ノ方法ヲ以テ其需求ニ應スルコトヲ得ル  
トキハ關係者ノ爲メ損害ノ最モ少ナキ處分ヲナスヘ

キモノトス

第五百九條 海難大損失ノ場合ニアラサルトキ船長ハ  
他ノ方法ヲ以テ需求ニ應スルコト能ハサルトキ又ハ  
他ノ方法ヲ撰フニ依リ船主ノ爲メ不相當ノ損害ヲ生  
スヘキトキニ限り積荷ヲ書入シ又ハ積荷ノ一部ヲ賣  
却シ又ハ支用シテ處分スルノ權アルモノトス

船長ハ此場合ニ於テモ亦船舶及運賃ト合一スルニア  
ラサレハ積荷ヲ書入スルコトヲ得ス(第六百八十一條  
第二項)

船長ハ船舶書入ニ依リ船主ノ爲メ不相當ノ損害ヲ生  
スヘキ場合ヲ除キ賣却ニ先テ船舶書入ヲ撰フヘキモ  
ノトス



第五百十條 積荷ノ書入又ハ積荷ノ一部ヲ賣却又ハ支用シテナス處分ハ前條ノ場合ニ於テハ之ヲ船主ノ計算ノ爲メ取結ヒタル信用契約(第四百九十七條及第七百五十七條第七)ト看做スモノトス

第五百十一條 第五百四條及第五百七條ヨリ第五百九條マテノ場合ニ於テ船長ノ取結ヒタル契約ノ効力ニ關シテハ亦第四百九十七條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第五百十二條 船長第四百九十五條第四百九十六條第四百九十七條第四百九十九條第五百四條第五百七條ヨリ第五百九條マテニ從ヒナスノ權アル事務及權利上行爲ニ關シテハ各邦法律ニ特別委任ノ規定アルモ

之ヲ要セサルモノトス

第五百十三條 船長ハ運賃ノ外衣服料慰勞金其他名義ノ何タルヲ問ハス賞與又ハ賠償トシテ船舶賃借人積荷引渡人又ハ積荷受取人ヨリ受取リタルモノヲ總テ入方トシテ船主ノ計算ニ立ツヘキモノトス

第五百十四條 船長ハ船主ノ承諾ナクシテ自己ノ計算ヲ以テ荷物ヲ積込ムコトヲ許サス船長此規定ニ背反スルトキハ船主ニ對シ荷物引渡地ニ於テ其際同一ノ航海及荷物ニ付キ約定シタル最高運賃額ヲ償フヘキモノトス但之ヨリ大ナル損害ヲ證明シテ申立ル船主ノ權ハ之ヲ爲メ變更ヲ受ルコトナシ

第五百十五條 船長ハ反對ヲ契約シタルトキト雖何時



タリトモ船主ヨリ解雇セラル、コトアルモノトス但  
船長ノ損害賠償請求權ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナ  
シ

第五百十六條 船長職務ニ適セスト認メラレ又ハ其義  
務ヲ盡クサ、ルカ爲メ解雇セラル、トキ船長ハ給料  
及總テ其他約定シタル利益ニシテ解雇マテ得ヘキモ  
ノニ限り之ヲ受ルモノトス

第五百十七條 一定ノ航海ノ爲メ雇入レラレタル船長  
戰爭、鎖港又ハ封港ノ爲メ又ハ輸出入禁令ノ爲メ又ハ  
他ノ船舶又ハ積荷ニ關スル事變ノ爲メ航海ヲ始メ又  
ハ繼續スルコト能ハサルニ依リ解雇セラル、トキ船  
長ハ亦給料總テ其他約定シタル利益ニシテ其解雇マ

テ得ヘキモノニ限り之ヲ受ルモノトス無定時間ヲ以  
テ雇入レラレタル船長一定ノ航海ヲ執行スルコトヲ  
引受ケタル後解雇セラル、トキ亦同一ナリトス  
此場合ニ於テ航海中解雇セラル、トキ船長ハ其他雇  
入レラレタル港ヘノ無賃送戻ノ請求又ハ相當ノ報酬  
ノ請求ヲナスハ其適意ニ任カスモノトス  
此法ノ規定ニ從ヒ無賃送戻ノ請求ノ生シタルトキ其  
請求ハ航海中ノ賄モ亦包含スルモノトス  
第五百十八條 無定時間ヲ以テ雇入レラレタル船長一  
定ノ航海ヲ執行スルコトヲ引受ケタル後第五百十六  
條及第五百十七條ニ掲ケタルヨリ他ノ理由ニ依リ解  
雇セラル、トキ船長ハ其解雇歐州内ノ港ニ於テナス



ト又ハ歐州外ノ港ニ於テナストニ應シ前條ノ規定ニ從ヒ之ニ屬スルモノ、外損害賠償トシテ尙ホ二月分又ハ四月分ノ給料ヲ受ルモノトス但何レノ場合ト雖航海ヲ終ハリタルトキ受取ルヘキ額ヲ超過スルコトヲ得ス

第五百十九條 給料ヲ期限ヲ定メスシテ全航海ニ付キ總額ヲ以テ約定セシトキ第五百十六條ヨリ第五百十八條マテノ場合ニ於テ得ヘキ給料ハ總額ト服務并ニ經過シタル航海ノ割合トニ應シ之ヲ定ルモノトス第五百十八條ニ掲ケタル二月分又ハ四月分ノ給料ヲ算定スルニハ船舶ノ性質ヲ斟酌シ荷積及荷卸ノ時間ヲ併セ航海ノ平均時間ヲ準率トシ之ニ從テ二月分又ハ

四月分ノ給料ヲ定ルモノトス

第五百二十條 船舶ノ歸航船籍港ニテ終ハラサル場合ニシテ船長發航及歸航ノ間又ハ無定期限ヲ以テ雇入レラレタルトキ船長ハ其雇入レラレタル港ヘノ無賃送戻及航海中給料繼續ノ請求又ハ相當ノ報酬ノ請求ヲナスハ其適意ニ任カスモノトス

第五百二十一條 無定期限ヲ以テ雇入レラレタル船長ハ其航海ヲ始メタルトキヨリ船舶船籍港又ハ内國港ニ歸着シ及荷卸ヲナシタルマテ其職ニ留ルヘキモノトス

但船長ハ船舶解雇告知ノトキ歐州内ノ港ニアルト又ハ歐州外ノ港ニアルトニ應シ出航以來二年又ハ三年



ヲ經過シタルトキハ解任ヲ求ルコトヲ得船長ハ此場  
合ニ於テ船主ニ於テ後任ヲ定ル爲メ必要ナル時間ヲ  
與ヘ及其間職務ヲ繼續シ各個ノ場合ニ於テ其航海ヲ  
終ハルヘキモノトス  
解雇告知ノ後直ニ歸航ヲ命シタルトキ船長ハ船舶ヲ  
送戻スヘキモノトス

第五百二十二條 船長他ノ船主ト契約ヲナシタルニ依  
リ共同船主トナリテ船舶ニ關係シタル船舶持部ハ其  
意ニ反スル解雇ノ場合ニ於テ其求メニ依リ共同船主  
ニ於テ鑑定人ノ鑑定スヘキ價額ヲ支拂ヒ之ヲ引受ク  
ヘキモノトス船長ノ此權ハ船長之ヲ使用スルノ陳述  
ヲ理由ナクシテ延滞スルトキハ消滅スルモノトス

第五百二十三條 船長航海ヲ始メタル後疾病ニ罹リ又  
ハ傷痍ヲ受ル場合ニ於テ船主ハ給養及療養ノ費用ヲ  
負擔スルモノトス

第一 船長船舶ト共ニ歸着シ及船籍港又ハ其雇入  
レラレタル港ニ於テ歸港ヲ終ハルトキハ其歸港  
ノ終ハルマテ

第二 船長船舶ト共ニ歸着シ及航海ヲ第一ニ掲ケ  
タル港ノ一ニ於テ終ハラサルトキハ其歸港ヲ終  
ハリタル以來六月ノ經過スルマテ

第三 船長航海中ニ陸ニ殘シ置カルヘキトキ船舶  
ノ其後ノ航海以來六月ノ經過スルマテ

第二第三ノ場合ニ於テ無賃送戻第五百十七條又ハ相



當ノ報酬ヲ請求スルハ亦船長ノ適意ニ任カスモノトス

航海ヲ始メタル後疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタル船長ハ船舶ト共ニ歸着シタルトキハ歸航ノ終ハルマテ陸ニ殘シ置カルヘキトキハ船長船舶ヲ離ル、日マテ給料及總テ其他約定シタル利益ヲ受ルモノトス  
船長船舶ヲ防禦スルノ際傷痕ヲ受ケタルトキハ其他相當ノ賞與ヲ請求スルノ權アルモノトス其賞與ハ必要ナル場合ニ於テハ裁判官之ヲ定ムヘキモノトス

第五百二十四條 船長其職務ニ就キタル後死去スルトキ船主ハ其死去ノ日マテ得ヘキ給料及總テ其他約定シタル利益ヲ拂フヘキモノトス其死去航海ヲ始メタル後ナリシトキ船主ハ埋葬費ヲモ亦負擔スヘキモノトス

船長船舶ヲ防禦スルノ際死去シタルトキ船主ハ其他相當ノ賞與ヲ支拂フヘキモノトス其賞與ハ必要ナル場合ニ於テ裁判官之ヲ定ムヘキモノトス

第五百二十五條 (本條ハ船員規則第六十八條ヲ以テ廢止シタリ)

第五百二十六條 船舶喪失ノ後ト雖船長ハ具狀ヲナシ及一般ニ必要ナル間船主ノ利益ヲ保護スルノ義務アルモノトス船長ハ此時間ニ付テモ亦給料ノ繼續及賄費辨償ノ請求權ヲ有スルモノトス此給料及賄費ニ付キ船主ハ無限責任ヲ負擔スルモノトス其他船長ハ無



賃送戻ノ請求(第五百十七條)又ハ相當ノ報酬ノ請求ヲ  
ナスハ其適意ニ任カスモノトス但第四百五十三條ニ  
依ルトキニ限ル

第五百二十七條 船長ニ於テ證明スヘキ資格ニ關スル  
各邦法律ノ規定ハ此法ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモ  
ノトス

第四章 船員(本章ノ規定ハ之ヲ廢止シ千八百七十  
二年十二月廿七日ニ發シタル左ノ船員規  
則ヲ以テ之ニ代ヘタリ)

船員規則

第一節 總則

第一條 此法ノ規定ハ獨逸國旗ヲ掲ルノ權利ヲ執行ス

ルコトヲ許ス總テノ商船千八百六十七年十月二十五  
日ノ法律第一條聯邦法律誌第三十五葉ニ適用スルモ  
ノトス

第二條 此法ニ謂ヘル船長ハ船舶ノ運用者(船將)トス其  
運用者ノ缺員又ハ故障アルトキハ其代理者ナリトス

第三條 船員仲間ニハ船長ヲ除キ士官モ亦算入スルモ  
ノトス并ニ船員ニハ船長ヲ除キ各個士官モ亦包含ス  
ルモノトス

船員仲間ニ屬スルコトヲクシテ機關士、事務員又ハ其  
他ノ資格ニ於テ船舶ニ雇入レラレタル者ハ此法ニ於  
テ船員仲間ニ付キ定メタル同一ノ權利及義務ヲ有  
スルモノトス此場合ニ於テハ其者船長又ハ船主ヨリ



任用セラレタルト否トニ依テ區別スルコトナシ

第四條 船員官署ハ獨逸國內ニ於テハ各邦ノ検査所ナリトス及外國ニ於テハ獨逸國ノ領事廳ナリトス獨逸國內検査所ノ設置ノ權ハ各邦法律ニ從ヒ其政府ニ属スルモノトス検査所ノ行務ハ獨逸國ノ上等監督ヲ受ルモノトス

第二節 航海簿并ニ検査

第五條 何人タリトモ其氏名本籍及年齢ヲ船員官署ニ於テ證明シ及其官署ヨリ其公製シタル航海簿ヲ受取リタル後ニアラサレハ獨逸國內ニ於テ船員トナリ職務ニ就クコトヲ許サス  
船員獨逸人ナルトキハ十四歳ニ滿ル前ハ船務ヲ擔任

スルコトヲ許サス又其兵役關係ニ付キ之ヲ證明シ并ニ父權ニ從ヒ又ハ未丁年ナルトキハ船務擔任ノ爲メニ得タル父又ハ後見人ノ承諾ニ付キ之ヲ證明スヘキモノトス

船員ニハ航海簿ト共ニ船員規則及救助ヲ要スル船員引取ノ義務ヲ獨逸商船ニ負ハシムル法律ノ刷本ヲ渡スヘキモノトス

第六條 父又ハ後見人ノ承諾第五條ハ制限ヲ加ヘサルトキニ限り始終之ヲ與ヘタルモノト看做スモノトス其承諾ニ依リ未丁年者ハ雇入契約ヲ取結ヒ并ニ其契約ヨリ生スル權利及義務及之ニ付テノ裁判上手續ニ關スルモノニ限り丁年者ト同一ニ看做サル、モノト



第七條 何人タリトモ既ニ公製シタル航海簿ヲ受取りタル者新航海簿ヲ得ントスルニハ舊航海簿ヲ差出シ又ハ其紛失ヲ證明スヘキモノトス船員官署ハ其之ヲナシタルコトヲ新航海簿ニ記入スルモノトス其紛失ヲ證明シタルトキ此記入ニハ同時ニ前等給及職務ノ關係并ニ職務ノ期限ニ關スル船員官署ノ證ヲ附記スヘキモノトス但船員之ニ付キ充分ニ證明スルトキニ限ル

第八條 何人タリトモ其航海簿ノ旨趣ニ依リ検査ヲ受ケタル者ハ其前職務上關係ノ終リタルコトニ付キ航海簿ニ登記スヘキ記入(第二十條及第二十二條)ヲ以テ

證明シタル後ニアラサレハ更ニ検査ヲ受ルコトヲ許サズ  
 船員官署ノ見込ニ依リ此記入ヲ差出スコト能ハザルトキ此記入ニ代ハルモノハ職務上關係ノ終リタルコトヲ他ノ方法ヲ以テ證明スルトキ船員官署ニ於テ直ニ航海簿ニ登記スルヲ許シトス  
 第九條 航海簿ノ調整及代價ハ獨逸集議院之決定ニ依リ以テ其公製書ニ費用及印稅ヲ要セサルモ又其航海簿ハ其所有者ノ兵役關係(第五條)ニ付キ詳記スルヲ許ス  
 第十條 船長ハ以下數條(第十一條ヨリ第三十二條)ノ規定ニ從ヒ船員ニ検査(就職検査、罷職検査)ヲ受ケシ



ムヘキモノトス  
船員ハ避クヘカラサル差支アルニアラサレハ自ラ檢  
査ヲ受ル爲メ出頭スヘキモノトス

第十一條 就職檢査ハ船員ト取結ヒタル雇入契約ヲ船  
員官署ニ於テ陳述セシムルニアルモノトス其就職檢  
査ハ獨逸國內ニ碇泊スル船舶ニアリテハ航海ヲ始メ  
又ハ繼續スル前航海簿ヲ呈出セシメテ之ヲナシ其他  
ノ船舶ニアリテハ船員官署ノ檢査ヲ受ルコトヲ得ヘ  
キトキ直ニ航海簿ヲ呈出セシメテ之ヲナスモノトス  
第十二條 就職檢査ノ筆記ハ船員官署ニ於テ之ヲ檢査  
簿トシテ公製スルモノトス一船舶ノ船員ニ属スル者  
同時ニ一筆記ヲ以テ就職檢査ヲナサハルトキ公製書

ハ最初ノ筆記ニ依リ之ヲ作ルモノトス  
檢査簿ニハ船舶ノ名號及本籍、船長ノ氏名及住地各船  
員ノ氏名、住地及職務上位置及雇入契約ノ條款及別段  
ノ約定アルトキハ其約定ヲ記載スヘキモノトス特ニ  
檢査簿ヲ以テハ船員ニ供スル日々ノ食料及飲料ヲ判  
然ナラシムヘキモノトス其他檢査簿ノ調整ハ獨逸集  
議院之ヲ定ム

第十三條 船員檢査簿ノ公製後初メテ就職檢査ヲ受ル  
トキ船員官署ハ其檢査ヲ其檢査簿ニ登記スヘキモノ  
トス

第十四條 獨逸國內ニ於テナス各就職檢査ニ方リテハ  
船員官署ニ於テ其檢査ニ付キ及就職ノ事實ニ付テノ



記入各船員ノ航海簿ニ登記スル者其記入ハ  
同時ニ出發券及航海券ノ効力有クモトス獨  
逸國外ニ於テ此登記ハ航海簿ヲ之カ爲メ呈出スルト  
キニ限リ之ヲナスモノトス  
航海簿ハ其後直ニ船長ニ於テ職務上關係ノ繼續中  
ニ保管スルモノトス

第十五條 就職検査ヲ受ケタル船員避クモ  
支分力爲メ就職スルコト能ハサルモ其船員ハ送  
ニ付キ成ルヘク速ニ船長及検査ヲ受ケタル船員官署  
ニ對シ證明スルモノトス  
第十六條 罷職検査ハ職務上關係ヲ終ルル者其船  
長及其關係者離岸ノ船員ヨリ陳述セシムルニアルモ

ノ以テ罷職検査ハ職務上關係ノ終リタルトキ直ニ之  
ヲ對シ就職別段契約ヲ行フハ船舶ヲ碇泊シ港  
船員官署及船舶ヲ喪失後初メ到達スルコトヲ得ル  
船員官署ニ於テ検査ヲ受ケタルモノトス  
第十七條 船長ハ罷職検査前罷職検査ヲ受ケタル船  
員ヲ爲メ之マテノ等級及職務上關係及職務ノ期限ヲ  
航海簿ニ證明シ檢査員ヨリ行テ依リ品行證書ニ  
亦交納スルモノトス  
第十八條 其證明及證書第十七條ニ於テ船長ノ署名  
罷職検査ヲ對シ船員官署ニ於テ費用及印稅ヲ要セ  
ルモノトス



第十九條 船長品行證書(第十七條)ノ交付ヲ拒ムトキ又ハ其證書ニ船員ニ於テ當否ヲ爭フ過失ヲ記載スルトキハ船員ノ申立ニ依リ船員官署事情ヲ捜査シ及捜査ノ結果ニ付テ證書ヲ船員ニ交付スヘキモノトス

第二十條 其ナシタル罷職検査ハ船員官署ニ於テ罷職検査ヲ受ケタル船員ノ航海簿及検査簿ニ之ヲ記入スルモノトス

第二十一條 検査簿ハ検査簿トシテ公製シタル就職検査筆記(第十二條)ニ關スル航海又ハ期限ノ終リタル後罷職検査ヲナス船員官署ニ之ヲ納付スヘキモノトス其船員官署ハ其検査簿ヲ本籍港ノ船員官署ニ送付スルモノトス

第二十二條 船員ニ於テ前數條ノ規定ニ從ヒ検査(第十條)ヲナスコト能ハサル變更アルトキ船長ハ船員官署ニ達スルコトヲ得ヘキトキ直ニ之ニ差支ノ理由ヲ擧ケテ検査ヲ受クヘキモノトス又此後日ノ検査ヲモ亦ナスコト能ハサルトキニ限リ事情ヲ届出ツヘキモノトス其届出ニ付テノ記入ハ船員官署ニ於テ關係シタル船員ノ検査簿及航海簿ニ之ヲ登記スヘキモノトス

第二十三條 検査簿ノ公製ヲ併セ検査筆記ニ付キ徵收スヘキ費用ハ船主ノ負擔ニ歸スルモノトス獨逸國內總テノ船員官署ニ於テ徵收スヘキ費用額ヲ同一ニ確定スルノ規定ハ之ヲ獨逸集議院ニ任カス

此規定ヲ設ルニ至ルマテ費用額ニ付テノ規定ハ各邦



政府規則ヲ以テ之ヲ定ル其外諸事皆之ニ照スルハ各港

第三節 契約ノ關係

第二十四條 給料契約ノ効力ハ文書有無ニ關係ナシ

モノトモニ其ノ事實ニ依リテ之ヲ定ムルコトナリ

第二十五條 給料契約ヲ取結ブノ際給料ノ額ヲ付テ明

言給ル契約モ然ル場合ニ於テ疑義生ラズトキハ其船員就

職検査ヲ受ル港ノ船員官署ニ於テ就職検査ヲ受ル其地

ノ慣例トシテ言渡ス給料契約ニ付テハ其ノ額ト看做ス

モノトス

第三十六條 船員以前取結ビタル契約ニ依リ雇入レ

給タル期限間ニ於テ更ニ雇入レラルル船員ハ其最初取

結ビタル契約ヲ履行ニ付テ其請求先行スルモノトス

但就職検査ヲ前ノ契約ニ依テ受ケタルコトナクシテ  
後ノ契約ニ依リ受ケタルトキハ後ノ契約先行スルモ  
ノトス

第二十七條 船員検査簿公製ノ後雇入レラル、場合ニ

於テ他ノ契約條款ナキトキハ其船員ニ對シ検査簿ノ

旨趣ニ依リ他ノ船員ト取結ヒタル契約効力アルモノ

トス特ニ其船員ハ検査簿ニ依リ其同級ノ他ノ船員ノ

受ルト同一ノ給料ニ限リ要求スルコトヲ得

第二十八條 船員其所持品ヲ以テ船舶ニ乗込ニ及船務

ニ服スヘキノ義務ハ別段ノ契約ナキトキ就職検査ト

共ニ始マルモノトス

船員就職ヲ二十四時間ヨリ長ク遅延スルトキ船長ハ



雇入契約ヲ解クノ權アルモノトス但代人ノ爲メ多額ノ費用ヲ要スルニ付キ及其他遅延ニ依リ生シタル損害ニ付テノ請求ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナシ

第二十九條 就職検査ヲ受ケタル後其職ニ就カス又ハ其職ヲ繼續セサル船員ニ對シ船長ハ船員官署ニ依リ強テ其義務ヲ履行セシムルコトヲ得

船員ハ之ニ依テ生スル費用ヲ辨償スヘキモノトス

第三十條 船員ハ船務ニ關シテハ船長ノ命令ニ服從シ及何時タリトモ船舶及積荷ニ付キ負擔セシメラレタル總テノ役務ヲ行フノ義務アルモノトス  
船員ハ此義務ヲ船舶中及其端舟并ニ舢舨陸上并ニ通常ノ狀況及海難ノトキ盡スヘキモノトス

船員ハ罷職検査ヲ受ルニ至ルマテハ船長ノ許可ナクシテ船舶ヲ離ル、コトヲ許サス船員ニ此許可ヲ與ヘタルトキ船員ハ確定セラレタル時ニ歸船シ此時ヲ確定セラレサルトキハ午後第八時前ニ歸船スヘキモノトス

第三十一條 船舶港内ニ碇泊スル間ハ船員ハ已ムヲ得サル場合ニアラサレハ十時ヨリ長ク日々労働スルノ義務ナキモノトス

第三十二條 海難特ニ船舶難破セントスルノ際并ニ船舶又ハ積荷ニ對スル暴行又ハ攻撃ノ際船員ハ船舶及積荷ヲ維持スル爲メ命セラレタル總テノ保助ヲ必スナスヘキモノトス及船長船舶ニ在留スル間ハ船長ノ



許可ナクシテ船舶ヲ離ル、コトヲ許サス

船員ハ船舶難破ノ際人及其所持品ノ救助ノ爲メ并ニ船舶ノ部分器具及積荷ノ保全ノ爲メ船長ノ命令ニ從ヒ及フヘキ丈ケノ力ヲ盡シ及救護ノ際給料及給養ヲ受ケテ助力ヲナスノ義務アルモノトス

第三十三條 船員ハ求メニ依リ海難具狀ニ参加シ及其陳述ヲ宣誓ヲ以テ確カムルノ義務アルモノトス  
船員ハ船舶ノ喪失ニ依リ給料契約ノ終リタル(第五十六條)トキト雖旅費及時日空過ニ付テノ費用ノ生スル場合ニ於テハ其支拂ヲ受ケテ前項ノ義務ヲ盡スヘキモノトス

第三十四條 航海ヲ始メタル後船員其雇入レラレタル

職務ニ堪ヘサルコトヲ發見スルトキ船長ハ舵取ヲ除クノ外船員ノ等級ヲ降シ其給料ヲ割合ニ應シテ減スルノ權アルモノトス

船長此權ヲ使用スルトキハ其命令ヲ成ルヘク速ニ關係者ニ言渡シ又船舶日記ニ其言渡ヲナシタル旨及時ヲ登記スヘキモノトス其言渡及登記前ニハ給料ノ減額ハ之ヲ實行セサルモノトス

第三十五條 給料ハ別段ノ契約ナキ場合ニ於テハ就職検査ノ時ヨリ之ヲ支拂フヘキモノトス

第三十六條 給料ハ別段ノ契約ナキトキニ限り船員ニ航海ノ終リタル後始メテ之ヲ支拂ヒ又ハ其他航海ノ終ル前職務上關係ノ終ルトキハ其際之ヲ支拂フヘキ



モノトス

但船員ハ中間航海ノ場合ニ於テハ就職検査ヲ受ケタル以來既ニ六月ヲ經過シタルトキニ限り船舶全部又ハ過半部ノ荷卸ヲナス最初ノ港ニ於テ之マテ受取ルヘキ給料(第六十七條)ノ半額ノ拂渡ヲ求ルコトヲ得又同一ノ手續ニ於テ船員ハ最初拂渡ヲ受ケタル後次キノ六月ノ經過スル毎ニ前拂渡ヲ受ケタル以來受取ルヘキ給料ノ半額ノ拂渡ヲ更ニ要求スルノ權アルモノトス

第三十七條 航海ヲ始ル前給料ノ前拂ヲナシ又ハ手付金ヲ支拂フヘキヤ及其程度ハ契約ナキ場合ニ於テハ船員就職検査ヲ受ル港ノ慣例ニ依テ定マルモノトス

第三十八條 船員ニナス總テノ支拂ハ別段ノ契約ナキトキハ其撰ヒニ從ヒ現金又ハ船主ニ振り出シタル一覽直拂差圖切手ヲ以テナスヘキモノトス

第三十九條 船長ハ航海ヲ始ル前差引計算簿ヲ作ルヘキモノトス其計算簿ニハ給料ニ對シテナシタル總テノ前拂及内拂并ニ手付金ヲ與ヘタルトキハ其手付金ヲ登記スヘキモノトス其差引計算簿ニハ船員ニ於テ各個ノ支拂ヲ受取リタルコトニ付テノ證ヲ記スヘキモノトス船長ハ各船員ニ其求メニ依リ尙ホ別段ノ給料帳ヲ交付シ及其所持人ノ給料ニ對シナシタル各個ノ支拂ヲ之ニモ亦登記スヘキモノトス

第四十條 船員ノ數航海中ニ減少シ再ヒ之ヲ補ハサル



トキ別段ノ契約ナキ場合ニ於テハ之ニ依テ餘リタル  
給料額ヲ現在ノ船員ニ其給料ノ割合ニ應シテ之ヲ分  
配スヘキモノトス但其分配ニ付テノ請求ハ船員逃亡  
ニ依テ減少シ及逃亡シタル船員ノ所持品船舶ニ殘留  
セサルトキハ之ヲナスコトヲ得ス

船員ノ數航海中六分一ヨリ多ク減少スルトキ船長ハ  
現在船員ノ求メニ依リ狀況ニ於テ補充ヲ許ス限リハ  
其現數ヲ補充スヘキモノトス

第四十一條 船舶二年ヨリ長ク外國ニ止ル總テノ場合  
ニ於テ別段ノ契約ナキトキハ二年以來職務ヲ奉スル  
船員ノ爲メ其給料ヲ増加スルモノトス但其給料期限  
ヲ以テ契約シタルトキニ限ル

其増加ハ左ノ如ク定ルモノトス

- 第一 下等水夫ハ三年目ノ初ニ至リ検査簿ニ定メ  
タル中等水夫ノ給料又ハ検査簿ニ依リ平均給額  
トスヘキ中等水夫ノ給料及四年目ノ初ニ至リ檢  
査簿ニ定メタル上等水夫ノ給料ヲ受ルモノトス
- 第二 中等水夫ハ三年目ノ初ニ至リ検査簿ニ定メ  
タル上等水夫ノ給及四年目ノ初ニ至リ其五分一  
ノ増給ヲ受ルモノトス
- 第三 其他ノ船員ニアリテハ検査簿ニ定メタル給  
料ハ三年目ノ初ニ至リ其五分一及四年目ノ初ニ  
至リ其原額ノ更ニ五分一ヲ増加スルモノトス
- 第二ノ場合ニ於テハ中等水夫ハ三年目ノ初ニ至リ上



等水夫ノ等級ニ進ムモノトス

第四十二條 獨逸商法第八百六十六條及第八百六十七條ニ從ヒ失踪ト看做スヘキ船舶ニ乗込ミタル船長及船員ニ屬スル人ノ職務契約及給料契約ヨリ生スル要求權ハ失踪期限ノ經過ト共ニ消滅スルモノトス此場合ニ於テ職務上關係ハ船舶ニ付キ最後ノ報告ノ達スル日以後半月ヲ經テ終リタルモノト看做ス  
要求ノ額ハ之ヲ船籍港ノ船員官署ニ交付スヘキモノトス其官署ハ受領權利者ニ交付スルノ紹介ヲナスヘキモノトス

第四十三條 船員ハ就職ノ時ヨリ船舶ノ計算ヲ以テ賄ヲ受ルモノトス船員ハ受取りタル食料及飲料ヲ自己

ノ需用ニ限り消費スルコトヲ許スモノトス一モ之ヲ賣讓シ浪費シ又ハ其他隱蔽スルコトヲ許サス

第四十四條 船員ハ船舶ノ内ニ於テハ其員數及船舶ノ大小ニ應シ自己及其所持品ノ爲メニノミ供シタル堅固ニシテ充分ニ空氣ノ流通スル寢室ヲ請求スルノ權アルモノトス

遭難又ハ其他ノ理由ニ依リ一時船舶内ニ於テ寢室ヲ與ルコト能ハサルトキハ他所ニ於テ相當ナル寢室ヲ與フヘキモノトス

第四十五條 船員ニ日々缺クヘカラサル食料及飲料(第四十三條)寢室ノ大小及構造(第四十四條)及少ナクモ備ヘ置クヘキ藥品ハ疑シキ場合ニ於テハ船籍港ノ法律



ニ從テ定マルモノトス

其細則ハ各邦政府規則ヲ以テ之ヲ發スルコトヲ得

第四十六條 船長ハ航海ノ時間非常ニ長キトキ又ハ遭

難ノ爲メ食料及飲料ニ付キ分量ヲ減少シ又ハ其種類

ヲ變更セシムルノ權アルモノトス

船長ハ船舶日記ニ其減少又ハ變更ノ時理由及方法ヲ

記入スヘキモノトス

其記入ヲ怠リタルトキ又ハ船長ハ發シタル命令ヲ不

當ナリトシ又ハ其過失ニ出テタリトシテ證明セラレ

タルトキ船員ハ其忍ヒタル不足ニ應スル賠償ヲ請求

スルコトヲ得此請求ニ付テハ罷職檢査ヲナス船員官

署之ヲ裁決ス但之カ爲メ司法裁判ヲ請フノ妨ケトナ

ラサルモノトス

第四十七條 士官一名又ハ船員三名以上其就職檢査ヲ

受ケタル船舶航海ニ堪ヘサルコト又ハ船舶船員需用

ノ食料及飲料ヲ備ヘ置ク貯藏品ノ不足シ又ハ損敗シ

タルコトニ付キ船員官署ニ故障ヲ申立ルトキ船員官

署ハ船舶又ハ貯藏品ノ檢査ヲナシ及其結果ヲ船舶日

記ニ登記スヘキモノトス又其官署ハ故障理由アリト

證明セラル、場合ニ於テ其弊害ヲ除クニ適切ナル

處分ヲナスヘキモノトス

第四十八條 船員就職後疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ル場

合ニ於テ船主ハ左ノ給養及療養ノ費用ヲ負擔スルモ

ノトス



第一 船員疾病又ハ傷痕ノ爲メ航海ヲ始メサルトキハ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタル以來三月ノ經過スルマテ

第二 船員航海ヲ始メ及船舶ト共ニ獨逸港ニ歸着シタルトキハ船舶ノ歸着以來三月ノ經過スルマテ

第三 船員航海ヲ始メ及船舶ト共ニ歸着スルモ船舶ノ歸航ヲ獨逸港ニ於テ終ラサルトキハ船舶ノ歸着以來六月ノ經過スルマテ

第四 船員航海中陸ニ殘シ置カルヘキトキハ船舶ノ其後ノ航海以來六月ノ經過スルマテ  
船員船舶ノ發航シタル港ニ船舶ト共ニ歸着セサル場

合ニ於テハ其港ヘノ無賃送戻(第六十五條第六十六條)又ハ船長ノ撰ヒニ依リ相當ノ報酬ヲ受ルコトヲ得

第四十九條 疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタル船員ハ左ノ時間其給料ヲ受ルモノトス

船員航海ヲ始メサルトキハ其職務ヲ罷ルマテ

船員航海ヲ始メ船舶ト共ニ歸着スルトキハ歸航ノ終ルマテ

船員航海中陸ニ殘シ置カルヘキトキハ船舶ヲ離ルル日マテ

船員船舶ヲ防禦スルノ際傷痕ヲ受ケタルトキハ其他相當ノ賞與ヲ請求スルノ權アルモノトス必要ナル場合ニ於テハ裁判官之ヲ定ムヘキモノトス



第五十條 許サレサル行爲ニ依テ疾病又ハ傷癩ヲ受ケ又ハ微毒ニ感染シタル船員ニハ第四十八條及第四十九條ヲ適用セサルモノトス

第五十一條 船員職務ニ就キタル後死去スルトキハ船主ハ其死去ノ日マテ受取ルヘキ給料(第六十七條)ヲ支拂ヒ及埋葬費ヲ擔當スヘキモノトス

船員船舶防禦ノ際死去スルトキハ船主ハ其他相當ノ賞與ヲ支拂フヘキモノトス必要ナル場合ニ於テハ裁判官之ヲ定ルモノトス

第五十二條 船員職務ニ就キタル後ニ於ケル船員少各死去ニ付テハ船長ハ二名ノ士官又ハ他ノ信認スヘキ人ノ立會ヲ以テ證書ヲ調製スヘキモノトス其證書ニ

ハ死去ノ日時死者ノ氏名出生地又ハ住地及年齢並ニ死去ノ推測上ノ理由ヲ記載シ船長及立會ヒタル證人署名スヘキモノトス

死去シタル船員ノ遺留物船舶ニ存スルトキニ限り船長ハ其遺留物ノ目錄ヲ作り及保管ヲナシ已ムヲ得サル場合ニ於テハ其賣却ヲナスヘキモノトス其目錄ハ二名ノ士官又ハ他ノ信認スヘキ人ノ立會ヲ以テ之ヲ調製スヘキモノトス

遺留物件又ハ其賣得金アルトキハ賣得金並ニ給料ノ受取殘金アルトキハ其殘金ハ前項ニ記載シタル目錄及死去ニ付テノ證書ト共ニ最初ニナスコトヲ得ル船員官署ニ之ヲ引渡スヘキモノトス外國ニ於テ船員官



署特別ノ理由ニ依リ遺留物件ノ受取りヲ拒ムトキハ船長其後初メテナスコトヲ得ル船員官署ニ之ヲ引渡スヘキモノトス

戸籍簿ノ登記ニ關スル各邦法律ノ規定ハ第一項及第三項ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナシ

第五十三條 船長航海中死去スルトキ舵取ハ前條ノ規定(第五十二條)ニ從ヒ死去ニ付テノ證書ノ調製及遺留物件ニ付キ處置スルノ義務アルモノトス

第五十四條 船員ハ中間航海ヲナストキハ之ヲ併セ全航海中歸航ノ終ルマテ其職ニ留マルヘキモノトス但給料契約ニ別段ノ定メアルトキハ此限ニアラス前項ニ謂ヘル歸航ハ船舶其發航ヲ始メタル港ヘノ航

海ナリトス但其船舶歐洲外又ハ黑海又ハ「アツオウ」海ノ港ヨリ來リ其發航ヲ獨逸港ヨリ始ル場合ニ於テハ左ニ掲ル各個ノ航海モ亦船長遅クトモ到着後直ニ船員ニ對シ航海ヲ終リタリト言渡ストキハ之ヲ歸航ト看做ス

第一 他ノ獨逸各港ヘノ航海

第二 獨逸外ナル北海ノ港又ハ海峽又ハ大不列嶼ノ港ヘノ航海

第三 船舶發航ヲ東海ノ港ヨリ始メタルトキニ限リ亦獨逸外ナル東海ノ港又ハ「ブレド」又ハ「カツテガート」ノ港ヘノ航海  
船舶其發航ヲ始メタル港ニ於テ歸航ヲ終ラサルトキ



船員ハ發航シタル港ヘノ無賃送戻(第六十五條及六十  
六條)及航海中給料ヲ受取り又ハ相當ノ報酬ヲ受ルノ  
請求ヲナスハ其適意ニ任カスモノトス

第五十五條 航海ヲ終リタル後船員ハ積荷ヲ卸シ船舶  
ヲ掃除シ及港又ハ其他ノ場所ニ固繫シ海難具狀ヲ要  
スルトキハ之ヲナシタル後ニアラサレハ其解雇ヲ求  
ルコトヲ得ス

第五十六條 給料契約ハ事變ニ依リ船主其船舶ヲ失フ  
トキ特ニ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

船舶難破スルトキ  
船舶修復不能又ハ修復無益ト言渡サレ獨逸商法第  
四百四十四條)及其修復無益ノ場合ニ於テハ遲延ナ

ク公賣スルトキ

船舶掠奪セラレトキ

船舶押取セラレ又ハ留置セラレ及分取物トシテ言  
渡サルトキ

船員ハ此場合ニ於テハ受ルヘキ給料(第六十七條)ノミ  
ナラス船舶其發航ヲ始メタル港ヘノ無賃送戻(第六十  
五條第六十六條)ノ請求ヲナシ又ハ船長ノ撰ヒニ依リ  
相當ノ報酬ヲ受ルコトヲ得

第五十七條 船長ハ給料契約ニ定メタル場合ヲ除クノ  
外左ノ場合ニ於テハ職務期限ノ經過前船員ヲ解雇ス  
ルコトヲ得

第一 未タ航海ヲ始メサル間ハ船員其雇入レラレ



タル職務ニ適セサルトキ

第二 船員重大ナル職務上ノ罪特ニ數回ノ悖令又ハ每次ノ抗命又ハ脱荷積込ノ罪アルトキ

第三 船員竊盜詐欺破信受寄盜隱私偽造變造ノ犯罪又ハ刑法ニ依リ懲役ヲ以テ罰セラルヘキ行爲ノ罪アルトキ

第四 船員黴毒ニ感染シタルトキ又ハ許サレサル行爲ニ依リ服務不能トナルノ疾病又ハ傷痕ヲ受ルトキ

第五 戰爭鎖港又ハ封港ノ爲メ又ハ輸出入禁令ノ爲メ又ハ其他船舶又ハ積荷ニ關スル事變ノ爲メニ船員雇入レラレシ航海ヲ始メ又ハ繼續スルコ

ト能ハサルトキ

解雇並ニ其理由ハナスヲ得ルトキ直ニ船員ニ之ヲ通知シ及第二第三第四ノ場合ニ於テハ船舶日記ニ登記スヘキモノトス

第五十八條 船員ハ第五十七條ノ第一ヨリ第四マテノ場合ニ於テハ受取ルヘキ給料第六十七條ノ外請求スルコトヲ得ス第五ノ場合ニ於テ船員ハ航海ヲ始メタル後解雇セラルトキハ受取ルヘキ給料ノミナラス亦船舶其發航ヲ始メタル港ヘノ無賃送戻第六十五條第六十六條ヲ請求シ又ハ船長ノ撰ヒニ依リ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第五十九條 一航海ノ爲メニ雇入レラレタル船員ニシ



テ第五十七條ニ掲ケタルヨリ他ノ理由ニ依リ給料契約ノ經過前解雇セララル、者ハ其受取りタル手付金及前拂金アルトキハ其金慣例額ヲ超ヘサルモノニ限リ損害賠償トシテ収置スルモノトス但其解雇ヲ航海ヲ始ル前ニナストキニ限ル

手付金及前拂金ノ支拂ヲ受ケサルトキ船員ハ損害賠償トシテ一月分ノ給料ヲ要求スヘキモノトス

解雇ヲ航海ヲ始メタル後初メテナストキ船員ハ船舶其發航ヲ始メタル港ヘノ無賃送戻(第六十五條第六十六條)又ハ船長ノ撰ヒニ依リ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得又其船員ハ受取ルヘキ給料(第六十七條)ノ外歐洲内ノ港(第七十條)ニ於テ解雇セラレタルト又ハ歐洲

外ノ港ニ於テ解雇セラレタルトニ應シ尙ホ二月分又ハ四月分ノ給料ヲ受ルモノトス但航海ヲ終リタル後ニ初メテ解雇セラレタルトキ受取ルヘキ額ヲ超ルコトヲ得ス

第六十條 前條末項ノ規定ヲ適用スル場合ニシテ船員獨逸内ノ港ニ於テ航海ノ終リタル後解雇セララル、トキ其受取ルヘキ給料ノ外其船員ニ属スル給料ヲ定ルニハ左ニ掲ル帆走船ノ航海ノ期限ヲ準率トスルモノトス

第一 北海北緯六十一度以南及英領「カナール」ノ港ヨリ北海ノ港マテハ一月東海ノ港マテハ一月半

第二 東海及其近海ノ港ヨリ北海ノ港マテハ一月



半東海ノ港マテハ一月

第三 歐洲内英領「カナール」外「ジブラルタール」ノ海

峽及「アツオール」海ニ至ル港並ニ北緯六十一度外

ノ北海ノ港及北海外「ノールドカープ」ニ至ル港ヨ

リ北海ニ至ルマテハ一月半東海ノ港マテハ二月

第四 地中海黒海及「アツオウ」海ノ港ヨリ北海又ハ

東海ノ港マテハ各二月

第五 歐洲内「ノールドカープ」以東ノ港ヨリ北海又

ハ東海ノ港マテハ各二月

第六 亞墨利加ノ東岸「クウエベツキ」ヨリ「リオデジ

ヤ子ロ」マテノ港ヨリ北海ノ港マテハ二月東海ノ

港マテハ二月半

第七 「リオデジヤ子ロ」以南「カープ、ホールン」マテノ

港ヨリ北海ノ港マテハ二月半東海ノ港マテハ三

月

第八 亞墨利加ノ西岸「カープ、ホールン」ヨリ「バナマ」

マテノ港ヨリ北海ノ港マテハ三月半東海ノ港マ

テハ四月

第九 亞普利加ノ西岸赤道及「カナール」島「カープ」

エルト島以北ノ港ヨリ北海ノ港マテハ二月東海

ノ港マテハ二月半

第十 赤道以南喜望峯マテノ港ヨリ北海ノ港マテ

ハ二月四分ノ一東海ノ港マテハ二月四分ノ三

第十一 喜望峯以東「カープ、モリン」及紅海、伯爾西



亞灣以西ノ港ヨリ北海ノ港マテハ三月半東海ノ港マテハ四月

第十二 以上掲ケタルノ外他ノ港ヨリ北海又ハ東海ノ港マテハ各四月

第六十一條 船員左ノ場合ニ於テハ其解雇ヲ求ルコトヲ得

第一 船長船員ニ對シ負擔スル義務ノ重キ背反特ニ暴行ヲ加ルノ罪又ハ故ナクシテ食料又ハ飲料ヲ給與セサルノ罪アルトキ

第二 船舶其國旗ヲ變更スルトキ

第三 發航ノ終リタル後中間航海ヲ決定シタルトキ又ハ中間航海ヲ終リタルトキ但其船舶歐洲内

ノ港(第七十條)ニ碇泊スルト又ハ歐洲外ノ港ニ碇泊スルトニ應シ就職以來二月又ハ三月ヲ經過シタル後ニ限ル

船主又ハ船長ノ更迭ハ船員ニ解雇ヲ求ルノ權ヲ與ヘサルモノトス

第六十二條 第六十一條第三ノ場合ニ於テハ左ニ掲ル事由アルトキ解雇ヲ求ルコトヲ得ス

第一 船員前條第三ニ掲ケタルヨリ長キ期限ノ雇入契約ヲナシタルトキ但無定期限ノ契約又ハ發航ノ終リタル後更ニ決定スヘキ總テノ航海ニ付キ職務ヲ繼續スヘキ一般ノ定メヲ以テスル雇入契約ハ前條第三ノ期限ヲ以テスル雇入契約ト看



做サ、ルモノトス

第二 歸航ヲ命シタルトキ

第六十三條 船員ハ第六十一條第一及第二ノ場合ニ於テハ第五十九條ノ場合ノ爲メ定メタルト同一ノ請求權ヲ有スルモノトス第三ノ場合ニ於テハ受取ルヘキ給料(第六十七條)ノ外請求スルコトヲ得ス

第六十四條 外國ニ於テ自己ノ解雇ヲ求ル船員ハ國旗變更ノ場合ヲ除クノ外船員官署ノ許可(第百五條)ナクシテ其職務ヲ離ル、コトヲ許サス

第六十五條 此法ノ規定ニ從ヒ無賃送戻ノ請求權ノ生シタルトキ其請求ハ亦航海中ノ賄ヲモ包含スルモノトス

第六十六條 勞役ニ堪ル船員ニ對シ船員官署ノ許可ヲ得其船舶發航ヲ始メタル港又ハ之ニ近接スル港へ航海スル獨逸商船ニ於テ前等級ニ應シ及相當ノ給料ヲ與ヘラルヘキ職務ニ就カシムルトキハ之ヲ無賃送戻ノ請求ニ應シタルモノト看做スモノトス但近接スル港マテノ無賃送戻ノ場合ニ於テハ船舶其發港ヲ始メタル港マテノ其後ノ無賃送戻(第六十五條)ニ代ヘ相當ノ報酬ヲ與フヘキモノトス  
船員獨逸人ニアラサルトキ其本籍ノ船舶ハ之ヲ獨逸船舶ト同視スルモノトス

第六十七條 第三十六條第五十一條第五十六條第五十八條第五十九條及第六十三條ノ場合ニ於テ受取ルヘ



キ給料ハ期限ヲ定メスシテ全航海ニ付キ總額ヲ以テ  
 約定シタルモノニ限り盡シタル職務並ニ經過シタル  
 航海ノ部分アルトキハ其部分ノ割合ニ應シ全給料額  
 ナ斟酌シテ之ヲ定ルモノトス第五十九條及第六十條  
 ニ掲ケタル各月ノ給料ヲ算定スルニハ船舶ノ性質ヲ  
 斟酌シ荷積及荷卸ノ時間ヲ併セ航海ノ平均時間ヲ準  
 率トシ之ニ依テ各月ノ給料ヲ定ルモノトス  
 第六十八條 船主ハ職務及給料契約ヨリ生スル船長及  
 船員ニ属スル人ノ要求ニ付キ船舶及運賃ニ止マラス  
 無限責任ヲ負擔スルモノトス  
 此規定ハ獨逸商法第四百五十三條ニ代ルモノトス  
 第六十九條 船員ニ賞與トシテ歸シタル運賃又ハ利益

ノ部分ハ之ヲ此法ニ謂ヘル給料ト看做サ、ルモノト  
 ス

第七十條 第五十九條及第六十一條ノ場合ニ於テハ歐  
 州外ナル地中海、黒海及、アツオウ海ノ港ハ之ヲ歐洲内  
 ノ港ト同一ニ看做スヘキモノトス

第七十一條 船長ハ船員官署ノ許可ナクシテ船員ヲ外  
 國ニ殘置クコトヲ許サス其殘置ク場合ニアリテ船員  
 ノ扶助ヲ要スルノ恐レアルトキ其許可ヲ與ルト否ト  
 ハ船長扶助ニ充ル爲メ三月以内ノ期限ヲ以テ保證ヲ  
 ナスニ依テ定マルモノトス

第百三條ノ規定ハ本條ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモ  
 ノトス



第四節 懲戒規定

第七十二條 船員ハ船長ノ懲戒權ニ服従スルモノトス  
其懲戒權ハ就職ヲ以テ始マリ解雇ヲ以テ消滅スルモノトス

第七十三條 船員ハ常ニ言行ヲ慎ミ及何人ニ對シテモ  
溫良柔和ノ動作ヲ守ルノ義務アルモノトス

船員ハ船長及其他上官ニ對シ尊敬ヲ以テ接シ及其職  
務上ノ命令ニ必ス服従スヘキモノトス

第七十四條 船員ハ船長ニ對シ其求メニ依リ船務ニ關  
スル事件ニ付キ知了スルモノヲ誠實及完全ニ告知ス  
ヘキモノトス

第七十五條 船員ハ船長ノ許可ヲクシテ荷物ヲ船舶ニ

持込ミ又ハ持込マシムルトナシ許サス此禁令ニ背キ  
持込ミタル自己又ハ他人ノ荷物ニ付キ船員ハ荷物引  
渡地ニ於テ其際同一ノ航海及荷物ニ付キ約定シタル  
最高運賃額ヲ償フヘキモノトス但之ヨリ大ナル損害  
ヲ證明シテ負擔セシムル賠償義務ハ之カ爲メ變更ヲ  
受ルコトナシ

船長ハ亦其荷物船舶又ハ積荷ヲ危險ナラシムルトキ  
其荷物ヲ投棄スルノ權アルモノトス

第七十六條 第七十五條ノ規定ハ船員船長ノ許可ヲク  
シテ火酒又ハ其他ノ揮發性飲料又ハ旨趣トスル航海  
中其使用ニ要スルヨリ過量ノ煙草ヲ船舶ニ持込ミ又  
持込マシムルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス



此禁令ニ反シ持込ミタル揮發性飲料及煙草ハ船舶ニ  
沒收スルモノトス

第七十七條 第七十五條及第七十六條ノ規定ニ從ヒ船  
長ノ發シタル命令ハナスコトヲ得ルトキ直ニ之ヲ船  
舶日記ニ登記スヘキモノトス

第七十八條 船長ハ船舶港ニ碇泊スルトキハ逃亡ヲ防  
ク爲メ船員ノ所持品ヲ船舶ノ出航マテ保管スルノ權  
アルモノトス

第七十九條 船長ハ秩序ヲ維持シ及職務ノ整理ヲ確保  
スル爲メ必要ナル總テノ處分ヲナスノ權アルモノト  
ス之カ爲メ船長ニハ罰トシテ慣例上職務ノ加重又ハ  
三日以内賄ヲ適宜減少セシムルコトヲ許スモノトス

料料又ハ管槌又ハ鎖鋼ハ之ヲ罰トシテ加ルコトヲ許  
サス

船長ハ抵抗又ハ剛愎ノ場合ニ於テハ其命令ニ服從セ  
シムル爲メニ必要ナル總テノ方法ヲ用ルノ權アルモ  
ノトス其關係者ニ對シ適切ナル保安處分ヲナシ及己  
ムヲ得サル場合ニ於テ航海中其關係者ヲ束縛スルコ  
トヲ許スモノトス

各船員ハ船長ニ對シ其求メニ依リ秩序ヲ維持シ並ニ  
抵抗ヲ防禦シ又ハ抑制スル爲メ助力ヲナスヘキモノ  
トス

外國ニ於テ船長ハ己ムヲ得サル場合ニアリテハ紀律  
ヲ維持スル爲メ其ナスコトヲ得ル獨逸軍艦ノ艦長ニ



其助力ヲ依頼スヘキモノトス

第八十條 第七十九條ノ規定ニ從ヒ船長ノナシタル各處分ハナスコトヲ得ルトキ直ニ事由ヲ併セ船舶日記ニ之ヲ登記スヘキモノトス

第五節 罰則

第八十一條 給料契約ヲ取結ヒタル後就職ヲ避ル爲メ潜伏スル船員ハ二十「タ」レ「ル」以下ノ罰金ヲ以テ處刑セラル、モノトス其糺罪ハ告訴アルトキニ限り之ヲナスモノトス

船員職務ノ繼續ヲ避ル爲メ逃亡又ハ潜伏スルトキハ百「タ」レ「ル」以下ノ罰金又ハ三月以下ノ禁錮ニ處スルモノトス其糺罪ハ告訴アルトキニ限り之ヲナスモノトス

トス

擔當シタル職務ヲ避ル爲メ給料ヲ携テ逃亡シ又ハ潜伏スル船員ハ刑法第二百九十八條ニ於テ罰スヘキ一年以下ノ禁錮ニ處セラル、モノトス

第八十二條 第八十一條第二項及第三項ノ場合ニ於テ船員船舶ノ出發前職務ヲ繼續スル爲メ任意ニ歸船セズ及權制ヲ受ケテ歸船セザルトキハ之マテ受取ルヘキ給料ノ請求權ヲ失フモノトス給料及其不足スルトキニ限り所持品ヲモ亦給料契約又ハ職務契約ヨリ生スル船主ノ損害要償ヲ充タス爲メ之ヲ請求スルコトヲ得其給料ハ之カ爲メ要セザルトキニ限り第七條ノ規定ニ從ヒ處分スルモノトス



第八十三條 船員第六十一條第一及第三ノ場合ニ於テ  
船員官署ノ許可ナクシテ(第六十四條)其職務ヲ離レタ  
ルトキハ一月ノ給料額以下ノ罰金ニ處スルモノトス  
第八十四條 自己ノ職務上義務ノ重大ナル背反ノ罪ア  
ル船員ハ一月ノ給料額以下ノ罰金ヲ以テ處刑セラレ  
ルモノトス

此職務上義務ノ背反ト看做スモノハ特ニ左ニ掲ルモ  
ノナリトス

宿直ニ於ケル怠慢

長官ノ職務上命令ニ對スル悖戻

長官其他船員又ハ乗客ニ對スル不當ノ動作

許可ナクシテ船舶ヲ離レ又ハ確定シタル時限ヲ超

テ歸船セサルコト

許可ナクシテ自己又ハ他人ノ物品ヲ船舶ヨリ持出

シ及荷物又ハ其他ノ物品ヲ船舶ニ持込ミ又ハ持込

マシムルコト

獨斷ヲ以テ他人ヲ船舶ニ乗込マシメ及他船ノ船舶

ニ接スルコトヲ許スコト

船務ニ於ケル亂辭

飲食物ヲ浪費シ又ハ權利ヲクシテ賣讓シ又ハ隱蔽

スルコト

士官ニ對シテハ其罰金ヲ二月ノ給料額マテ加重スル

コトヲ得

給料期限ヲ定メスシテ約定シタルトキ其罰金ハ船員



官署ノ見込ヲ以テ一月ノ給料ニ應スル金額ニ之ヲ定  
ルモノトス

其糺罪ハ告訴アルトキニ限り之ヲナスモノトス其告  
訴ハ罷職検査マテハ之ヲナスコトヲ得

第八十五條 船長ハ職務上ノ義務ノ各背反(第八十四條)

ヲナスコトヲ得ルトキ直ニ其事情ノ明細ヲ併セ船舶  
日記ニ登記スヘキモノトス及成ルヘク第八十四條ノ  
處罰ヲ明示シテ登記ノ旨趣ヲ船員ニ通告スヘキモノ  
トス

其通告ヲナサ、ルトキハ其理由ヲ船舶日記ニ登記ス  
ヘキモノトス其登記ヲナサ、ルトキ糺罪ハ之ヲナサ  
、ルモノトス

第八十六條 船長又ハ其他上官ノ發シタル數回ノ命令  
ニ對シ義務上ノ服從ヲ拒絕スル船員ハ三月以下ノ禁  
錮又ハ百ターレル以下ノ罰金ヲ以テ處刑セラル、モ  
ノトス

第八十七條 船員ニ屬スル者二名以上契約シテ共同シ  
船長又ハ其他上官ニ對シ義務アル服從ヲ拒絕スルト  
キハ其各關係者ヲ一年以下ノ禁錮ニ處ス其巨魁ハ三  
年以下ノ禁錮ヲ以テ處刑セラル、モノトス  
減輕スヘキ情狀アルトキハ二百ターレル以下ノ罰金  
ヲ言渡スコトヲ得

其巨魁ハ二年以下ノ禁錮ヲ以テ處刑セラル、モノト  
ス



第八十八條 第八十七條及第九十一條ニ從ヒ罰セラルヘキ行爲ヲナサシムルカ爲メ船員ニ屬スル人ノ二名以上ヲ挑發スル船員ハ其挑發其罰セラルヘキ行爲又ハ其罰セラルヘキ未遂犯罪ニ至ルノ結果ヲ生セシトキ教唆者ト等シク處刑セラルヘキモノトス

其挑發結果ナキトキ第八十七條ノ場合ニ於テハ百タ  
 一レル以下ノ罰金第九十一條ノ場合ニ於テハ二百タ  
 一レル以下ノ罰金又ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十九條 暴力又ハ暴力ヲ施スヘキコトノ脅嚇又ハ職務ノ拒絕ヲ以テ船長又ハ其他上官ヲシテ其職務ヲ行ハシメ又ハ之ヲ止メシムルノ企圖ヲナス船員ハ二年以下ノ禁錮ヲ以テ處刑セラルヘキモノトス減輕スヘ

キ情狀アルトキハ二百タ一レル以下ノ罰金ヲ言渡スコトヲ得

第九十條 船長又ハ其他上官ニ對シ暴力又ハ暴力ヲ施スヘキコトノ脅嚇ヲ以テ抗抵ヲナシ又ハ暴行ヲ以テ攻撃スルノ企圖ヲナス船員ニモ亦同一ノ罰則(第八十九條)ヲ適用スルモノトス

第九十一條 船員二名以上契約シテ共同シ第八十九條及第九十條ニ記載シタル行爲ノ一ヲナストキ其刑ハ最上限ノ二倍マテ之ヲ加重スルコトヲ得

巨魁並ニ船長又ハ其他上官ニ對シ暴行ヲナス者ハ五年以下ノ懲役又ハ同期限ノ禁錮ヲ以テ處刑セラルヘキモノトス亦警察監視ニ付セシムルノ言渡ヲナスコト